

【第2部】

殷 祭

1949年→2014年

知の広場への道のり

山口大学設立から現代まで



【第2部】

繫

1

写真でつづる
山口大学の軌跡

1 草創期 1949年→1965年



昭和24年(1949.7.15) 入学式(第1回)学生代表宣言

昭和24(1949)年6月1日に山口大学は産声をあげた。

入学生定員は、文理学部、経済学部、教育学部、工学部、農学部を合計して605名。専任教授は全学でも17名という陣容でのスタートだった。第1回の入学式は同年7月15日に開催された。

戦後の混乱は沈静化に向かってはいたが、食料品や生活物資の困窮が続く時代、学生たちは空腹を抱えながらも目を輝かせて講義に聴き入った。

設立当初の亀山キャンパスは、経済学部と教育学部のみであったが、昭和29(1954)年に文理学部が糸米から後河原に移転したことにより、大学が山口市街の中心を占めることとなった。中心市街地には学生が闊歩し、にぎやかな様子を見せた。このキャンパス風景は、統合移転により吉田キャンパスに移るまで続いた。

一方、常盤キャンパスでは、第1回卒業式が行われた昭和28(1953)年に工業短期大学部が併設された。工業短期大学部は平成2(1990)年に改組、平成5(1993)年に廃止されるまで、多くの卒業生を輩出した。



昭和24年(1949,11) 開学式



昭和24年(1949.11) 開学式 田中龍夫県知事の祝辞



昭和24年(1949,11) 記念祝賀会の様子



昭和24(1949)年 開学記念運動会



昭和24(1949)年 開学記念運動会



昭和24(1949)年 開学記念野球大会(対福岡商大)

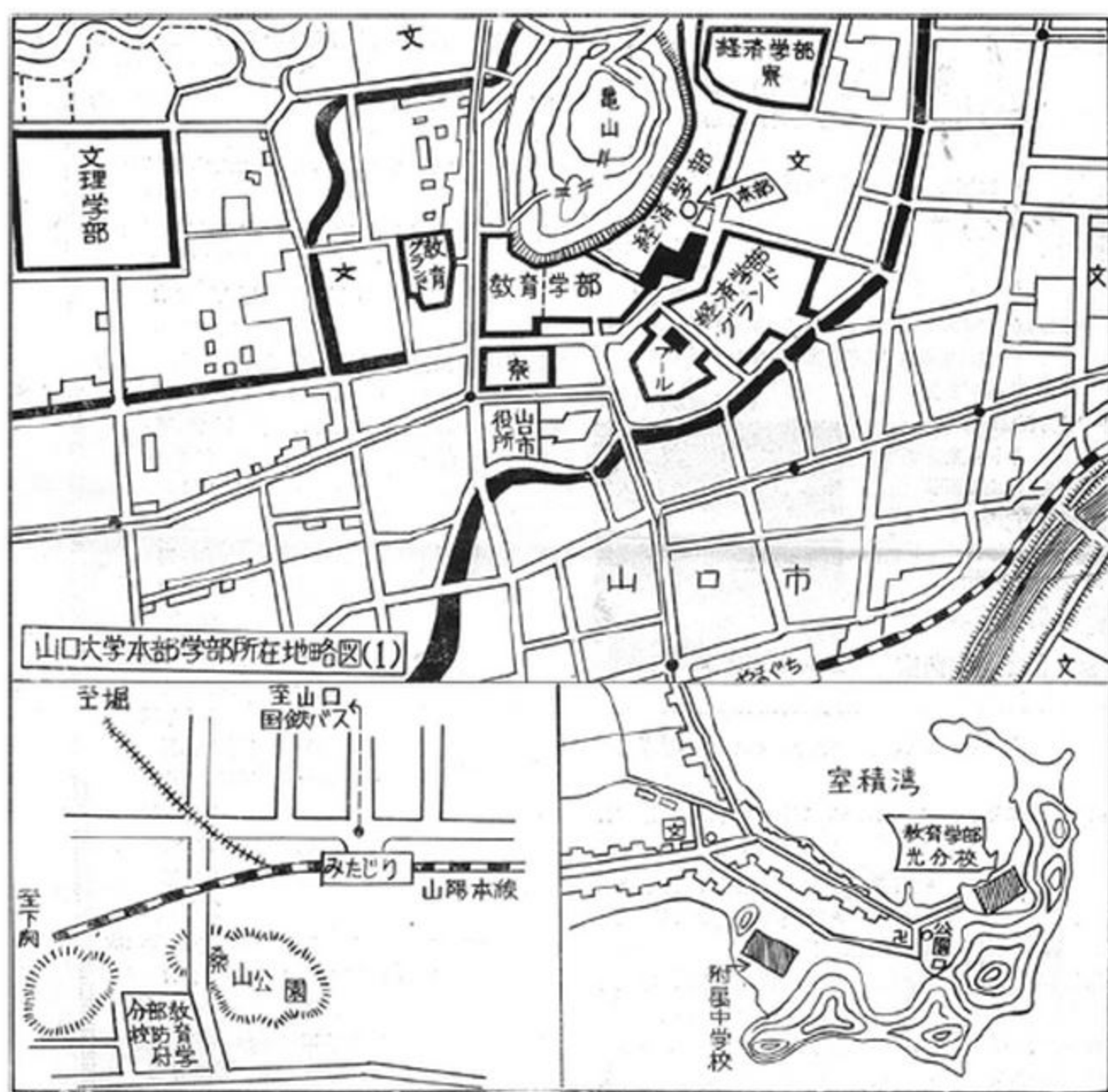
COLUMN

山口大学学報の創刊

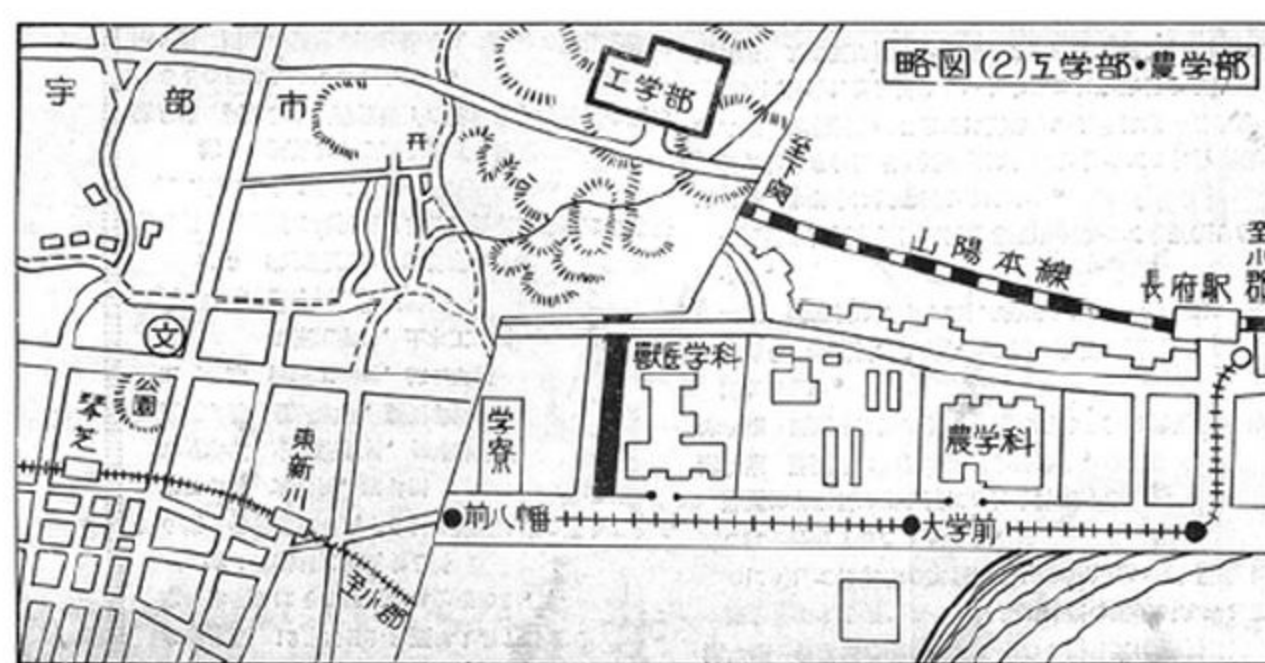
昭和25(1950)年、学報が創刊された。発刊の辞で松山学長は、「学園は自然の真理を探究し、人生の機微を感得する厳粛なる場である。この場に携わる総てのものは停滞を許されない」と述べている。「この学報が責任者の努力と一般の支持によって、よく報道の任務を全うするよう健全に発達して行くことを望んで止まない」との松山学長の言葉のとおり、学報は現在も毎月発刊され、本学の現状を報せるとともに、たゆまぬ活動を記録し続けている。



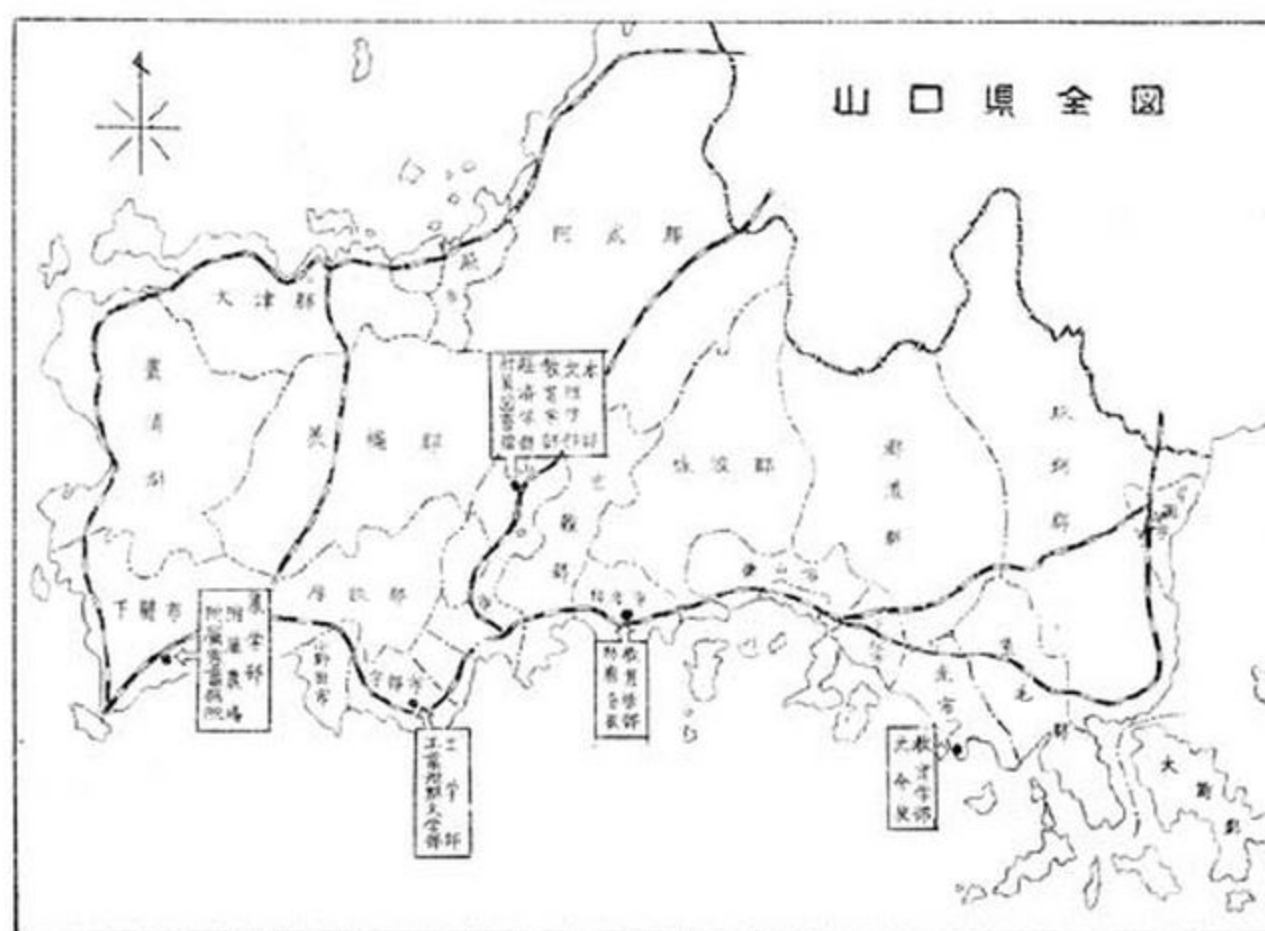
山口大学学報 第1号



昭和27(1952)年度 『山口大学要覧』より



昭和27(1952)年度 『山口大学要覧』より



昭和28(1953)年頃の学部等配置図(昭和30(1955)年度『山口大学要覧』より)



昭和28(1953)年以前 山口大学本部(新道移転前)



昭和24(1949)年頃 糸米時代の文理学部講堂



教育学部正門



昭和30(1955)年頃 経済学部の校舎全景(昭和30年度卒業アルバムより)



併設された門標



教育学部防府分校



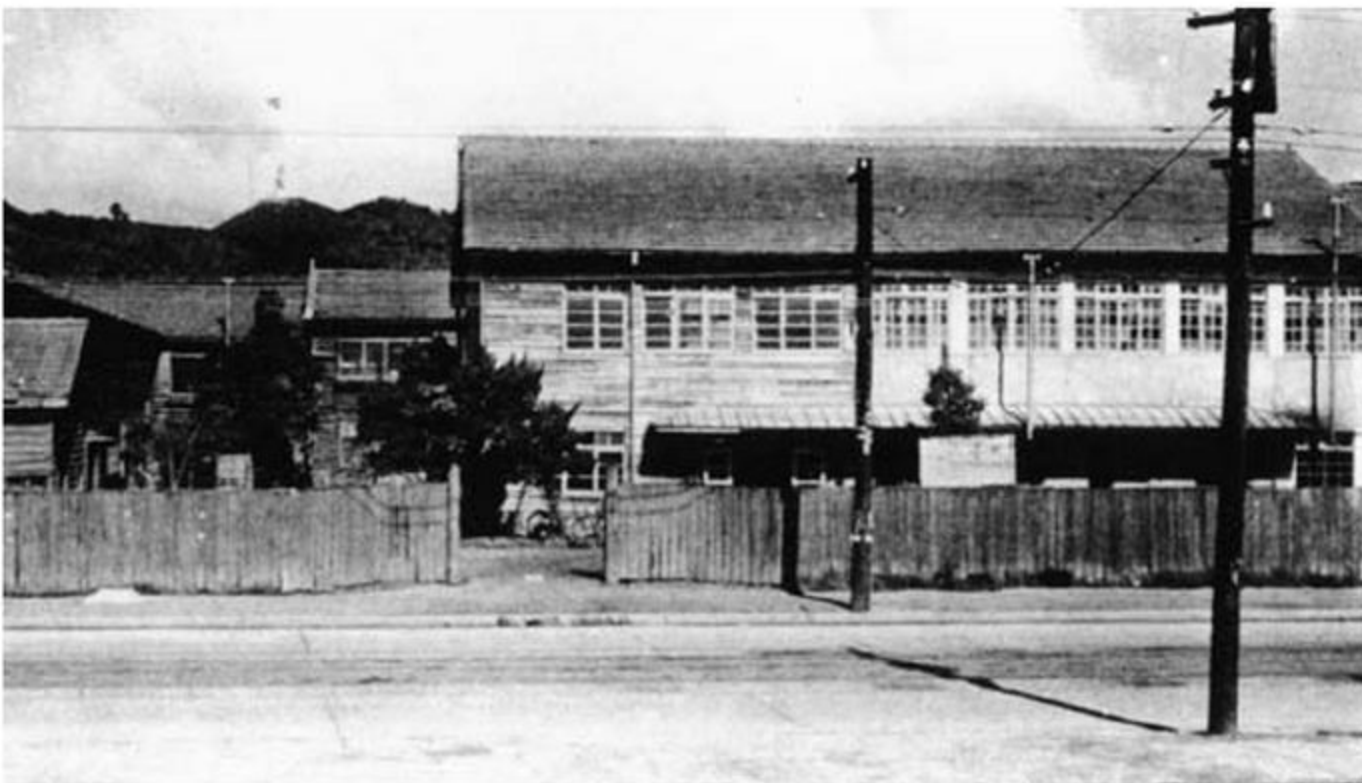
昭和24(1949)年 山口師範女子部及び教育学部光分校



長府時代の農学部校舎前景



昭和26(1951)年 附属光中学校



獣医学科校舎



開学した頃の山口県立医科大学校舎



工学部本館前庭



昭和27(1952)年 山口県立医科大学附属病院正面

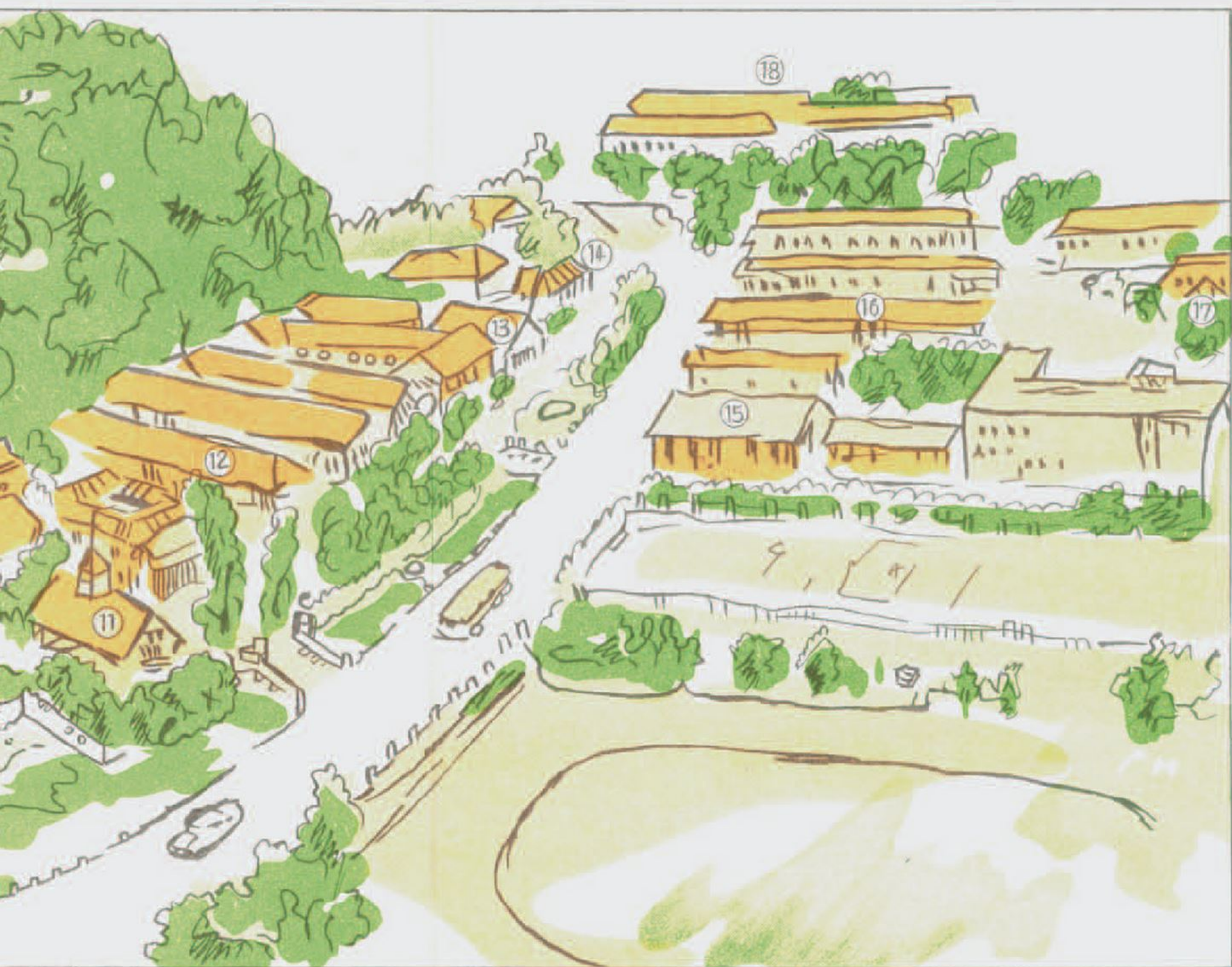
山口大学鳥瞰図



- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| ① 大学本部 | ④ 附属山口中学校 | ⑦ 教育学部 |
| ② 学生健康相談所 | ⑤ 附属山口小学校 | ⑧ 教育学部講堂 |
| ③ 時 瘥 寮 | ⑥ 鴻 南 寮 | ⑨ 学生相談所 |



後河原に移転後の文理学部校舎全景



⑩ 図 書 館
⑪ 経済学部 講堂
⑫ 経 済 学 部

⑬ 学 生 ホ ー ル
⑭ 鳳 陽 会 館 食 堂
⑮ 体 育 館

⑯ 文 理 学 部
⑰ 文 理 学 部 記 念 館
⑱ 鳳 陽 寮

昭和34(1959)年 『山口大学学生便覧』より

山口大学学生歌
一連なる周防の山高く
今曉の雲を穿く
希望は高く澄らつと
若き吾等のかいな組む
世代の覇者若く我輩は
世紀の雲に高らかに
ああ山犬山犬山犬！
三みずから意気盛激に
今れいの朝明けぬ
ゆるかぬ平和めかしつ
若き力のかいな組む
時代の覇者若く我輩は
吾等の誇り高らかに
ああ山犬山犬山犬！
三若き正義は脈打ちて
今曉の雲を穿く
時代の歴史かきめ
若き命のかいな組む
ここ周防のひとすみに
輝く日よれ高らかに
ああ山犬山犬山犬！

山口大学学生歌 昭和27(1952)年完成
作詞/永井 正春 作曲/藤井 哲雄



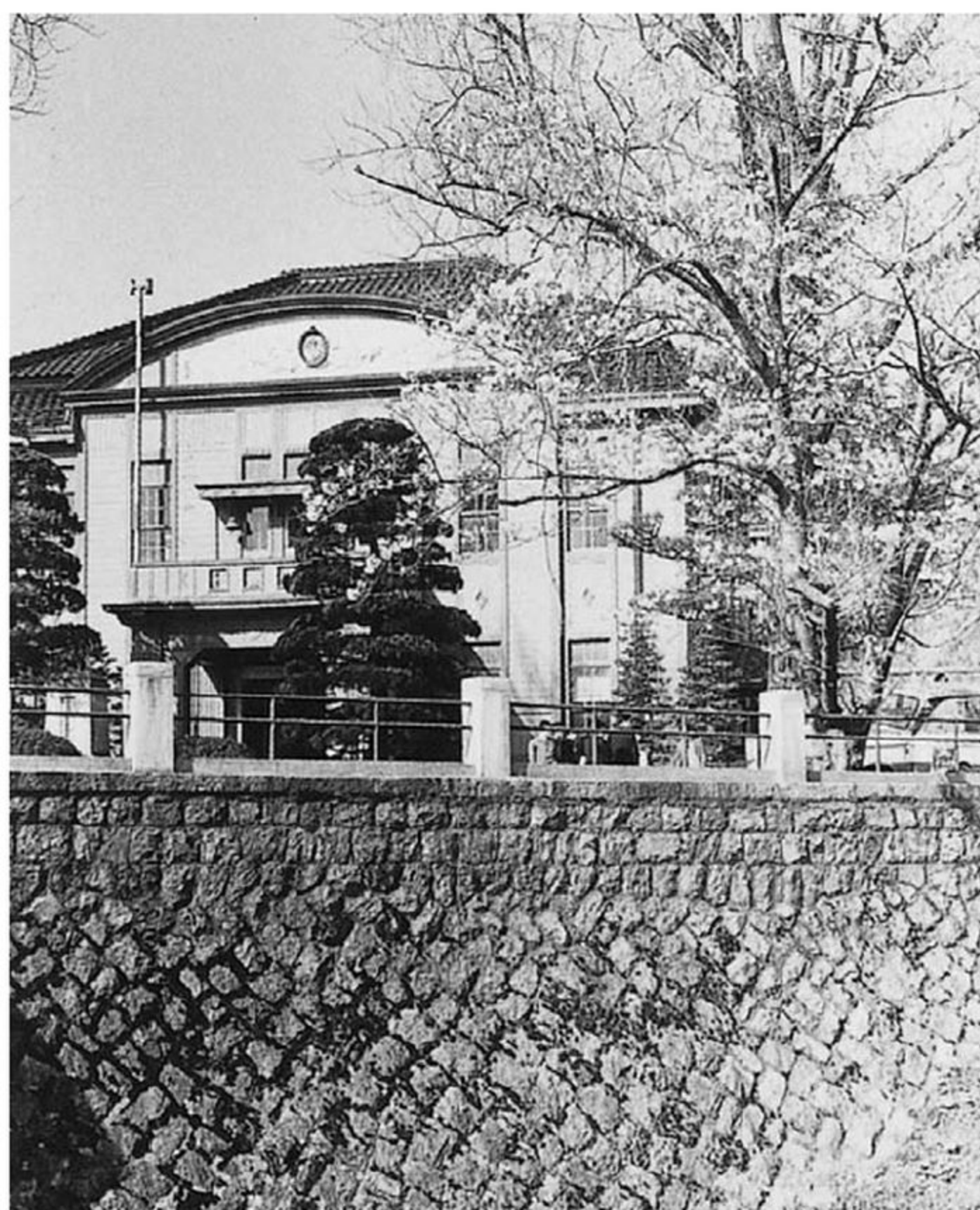
昭和38(1963)年 亀山上空



昭和32(1957)年 経済学部講堂(第5回卒業アルバムより)



昭和35(1960)年頃 経済学部周辺



経済学部校舎 大イチョウのある風景



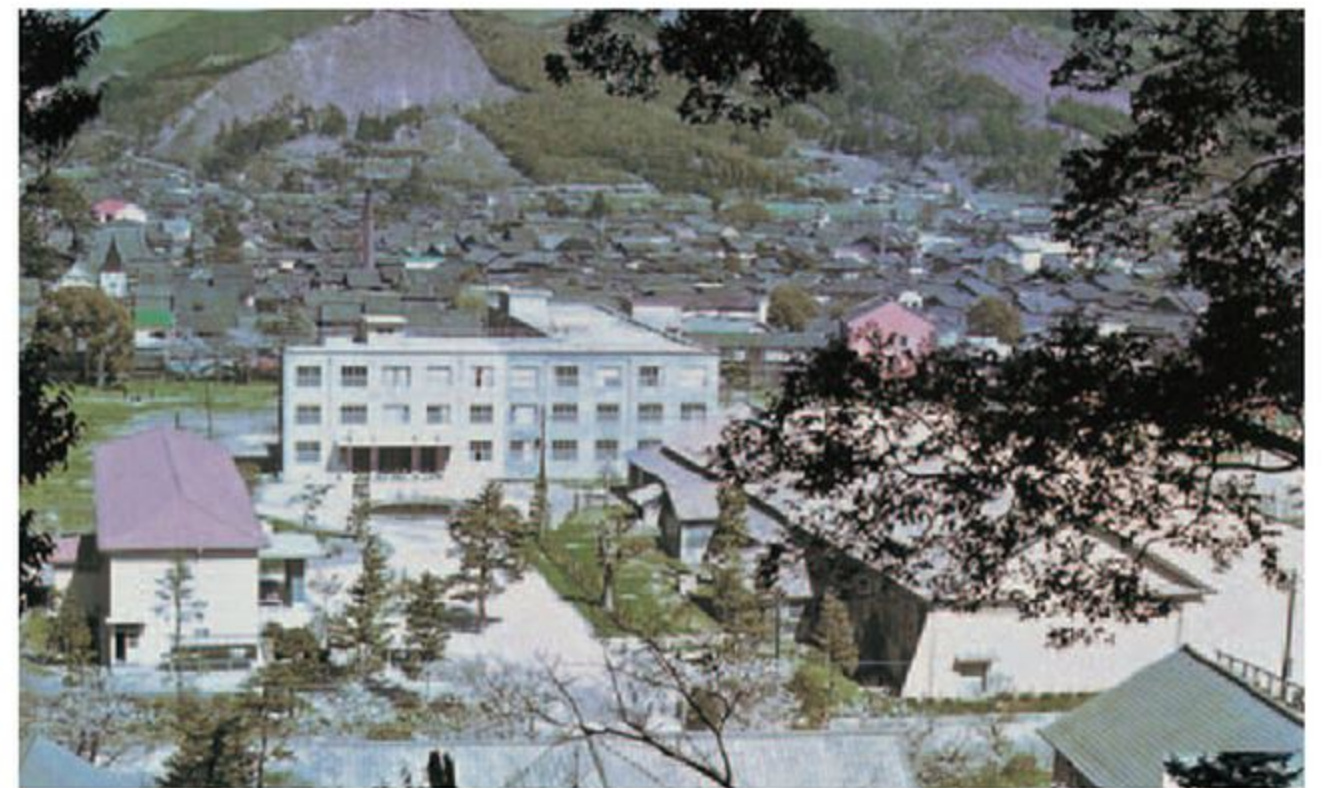
昭和35(1960)年 工学部 中央に正気館、左に工化実験棟、手前に寮



昭和36(1961)年 附属山口小学校正門付近



昭39(1964)年頃 山口県立医科大学キャンパス

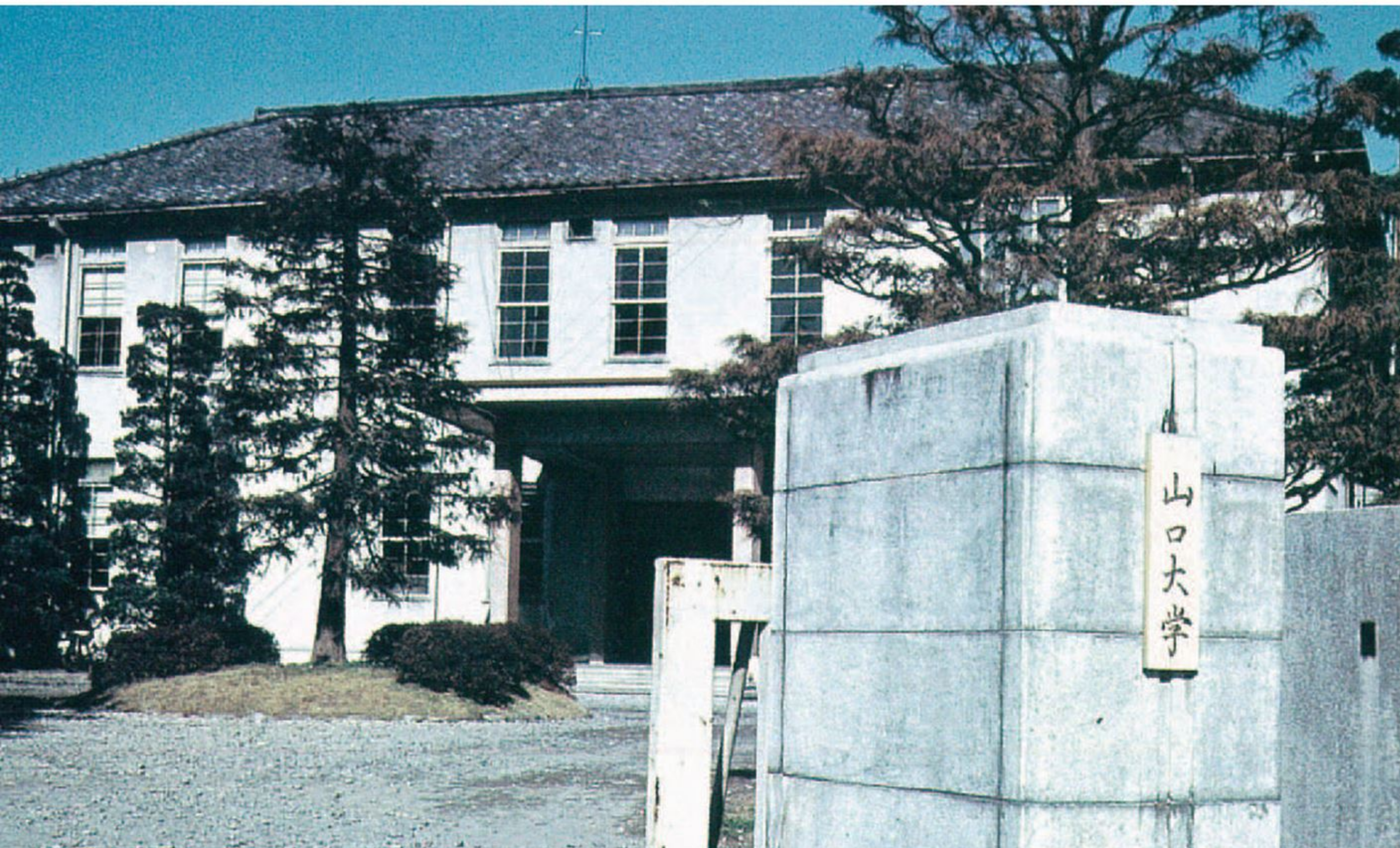


昭和36(1961)年 文理学部玄関付近



昭和36年(1961.4) 文理学部理科棟(経済学部講堂付近から望む)

2 統合移転期 1966年→1973年



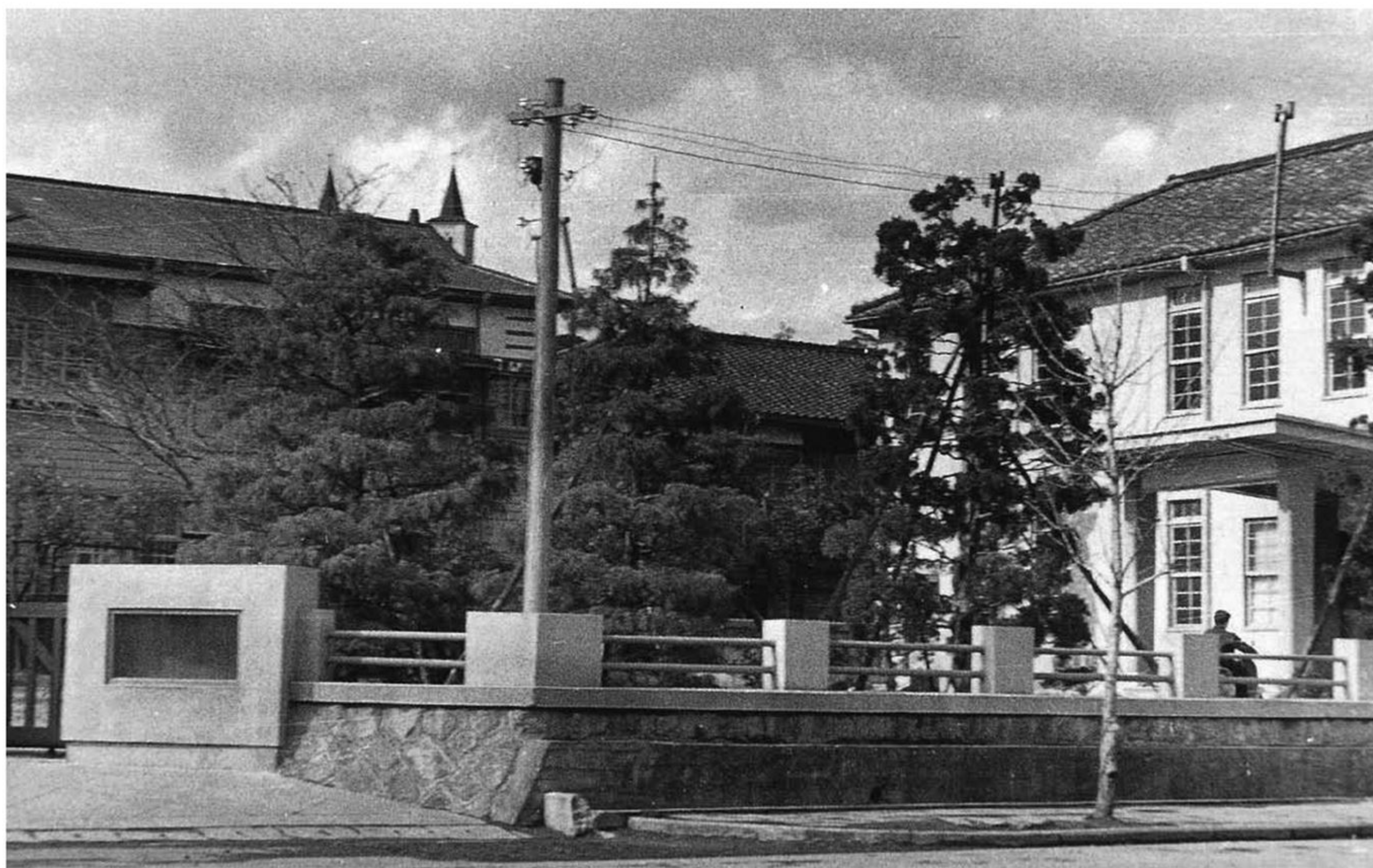
昭和42(1967)年 本部(統合移転前)現山口市民会館

昭和35(1960)年夏頃から高度成長期に入り、山口大学でも高等教育熱の高まりを反映して学部、学科の新設・増設が続いた。昭和39(1964)年4月には、山口県立医科大学を国立移管して医学部が設置され小串キャンパスが新たに加わり、昭和41(1966)年には文理学部の拡充改組により教養部が設置されている。

また、昭和41(1966)年、山口大学として初めての大学院工学研究科が発足し、常盤キャンパスは工業都市宇部にあふさわしい最高学府へと発展していった。

山口市平川地区への統合移転が昭和39(1964)年9月の評議会において決定され、昭和41(1966)年の農学部にはじまり、昭和42(1967)年教養部、昭和43(1968)年文理学部・事務局・学生部、昭和45(1970)年附属図書館、昭和47(1972)年教育学部、昭和48(1973)年経済学部で移転が完了した。

こうして、平川地区において山口大学は新たな総合大学としてのあゆみを始め、小串、常盤キャンパスとともに学びの道を拓いていった。



本部前付近 現山口市民会館に建て変わる



昭和30(1955)年頃 農学部長府校舎

昭和41(1966)年 附属幼稚園誕生
附属小学校の校舎の一部を改造、一学級でスタート

COLUMN

統合移転後の学生食堂

昭和41(1966)年の移転当時、吉田キャンパス付近には食堂がほとんどなかったため、学生食堂建設が急がれ、昭和42年に第1学生食堂が完成した。統合移転が進むなか、昭和47(1972)年、新たに第2学生食堂が完成した。医学部では、昭和50(1975)年に医学部学生食堂を開設。工学部では、学部開設当時から喫茶部のみが設けられていたが、昭和38(1963)年にこれを学生食堂(名称 工友館食堂)とした。その後、各キャンパスの学生食堂は改築、新築が行われ、機能を充実させている。



当時の第1学生食堂



当時の第2学生食堂



昭和41年(1966.3) 教育学部玄関付近(卒業記念アルバムより)



昭和42年(1967.3) 文理学部門標



昭和41年(1966.3) 龜山より教育学部を望む(卒業記念アルバムより)



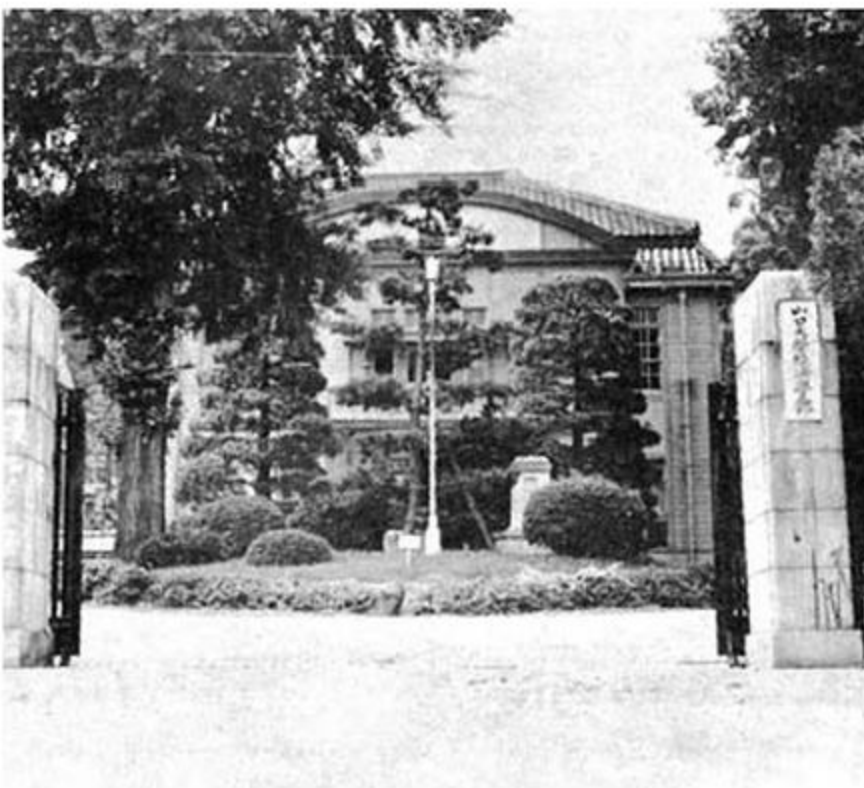
昭和41年(1966.3) 教育学部(卒業記念アルバムより)



昭和41年(1966.3) 教育学部(卒業記念アルバムより)



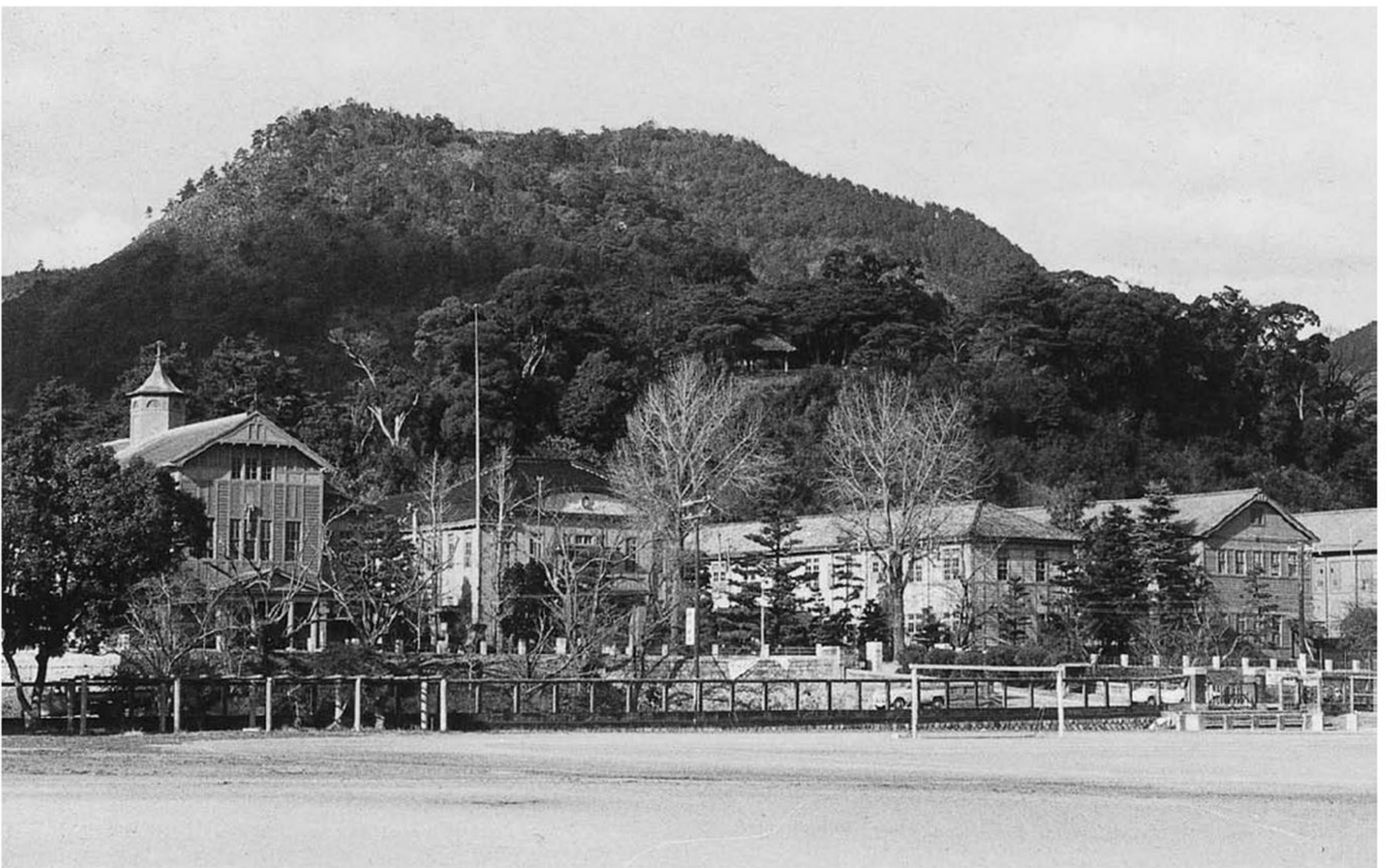
昭和45(1970)年頃 本部



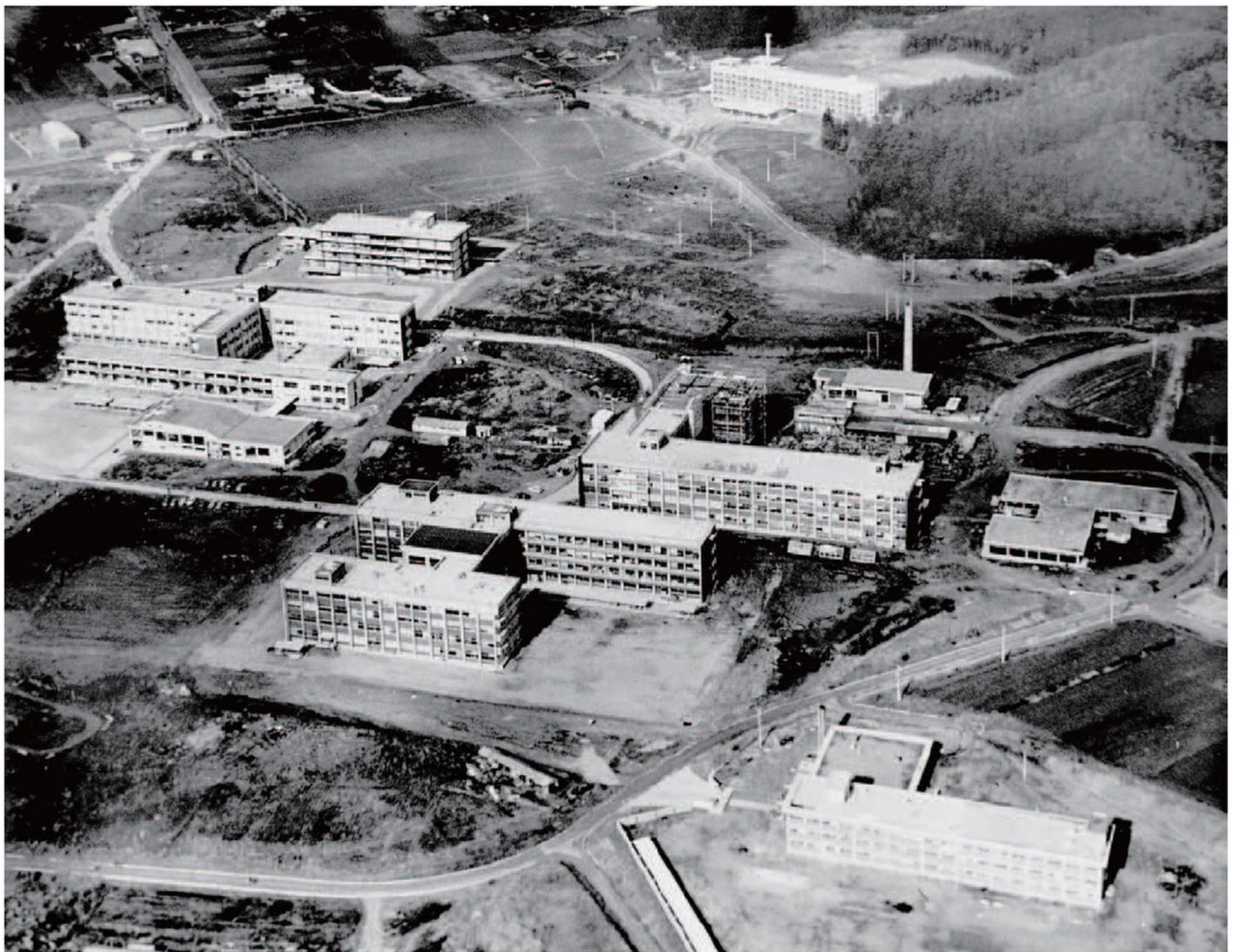
昭和46(1971)年 経済学部



昭和41年(1966.3) 教育学部(卒業記念アルバムより)



昭和42(1967)年頃 経済学部校舎全景



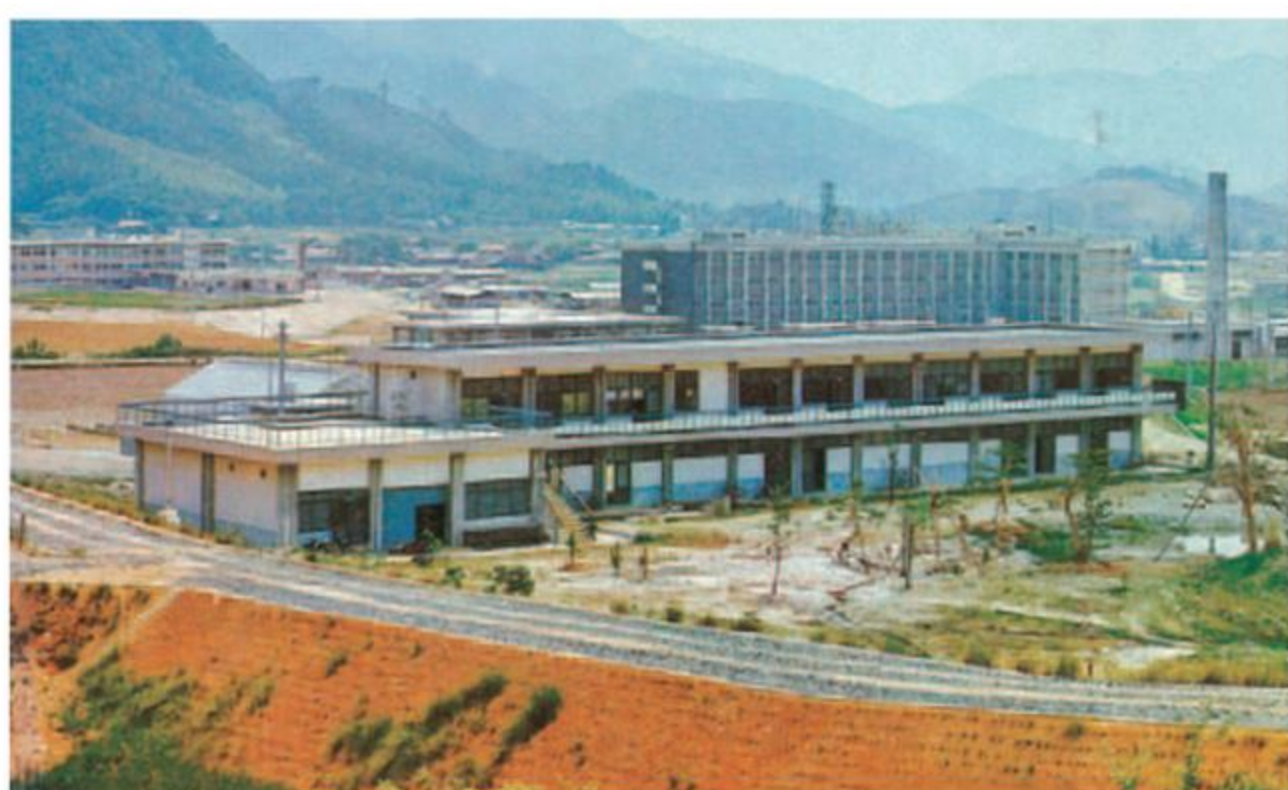
昭和43(1968)年 山口大学吉田地区



昭和42(1967)年 農学部と建設中の文理学部



昭和43(1968)年 農学部



昭和43(1968)年 建設中の農学部附属農場



昭和46(1971)年 経済学部



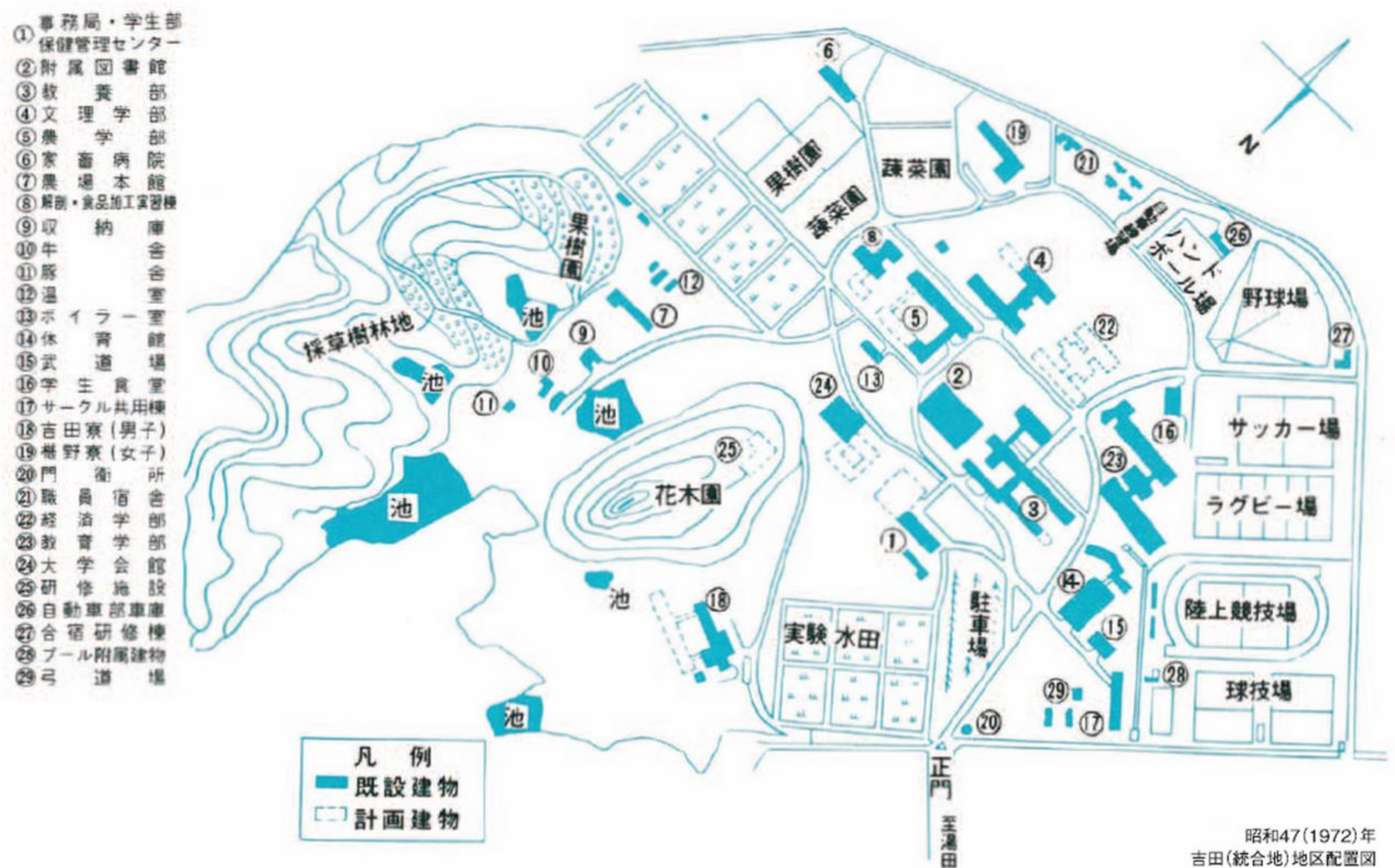
昭和44(1969)年 正門風景



昭和45(1970)年 事務局



昭和46(1971)年 山口大学吉田地区(本部、文理学部、農学部、教養部、附属図書館等)



昭和47(1972)年
吉田(統合地)地区配置図



昭和48(1973)年 吉田地区



昭和50(1975)年 文理学部



昭和51(1976)年 経済学部



昭和52(1977)年 教育学部



昭和55(1980)年 農学部



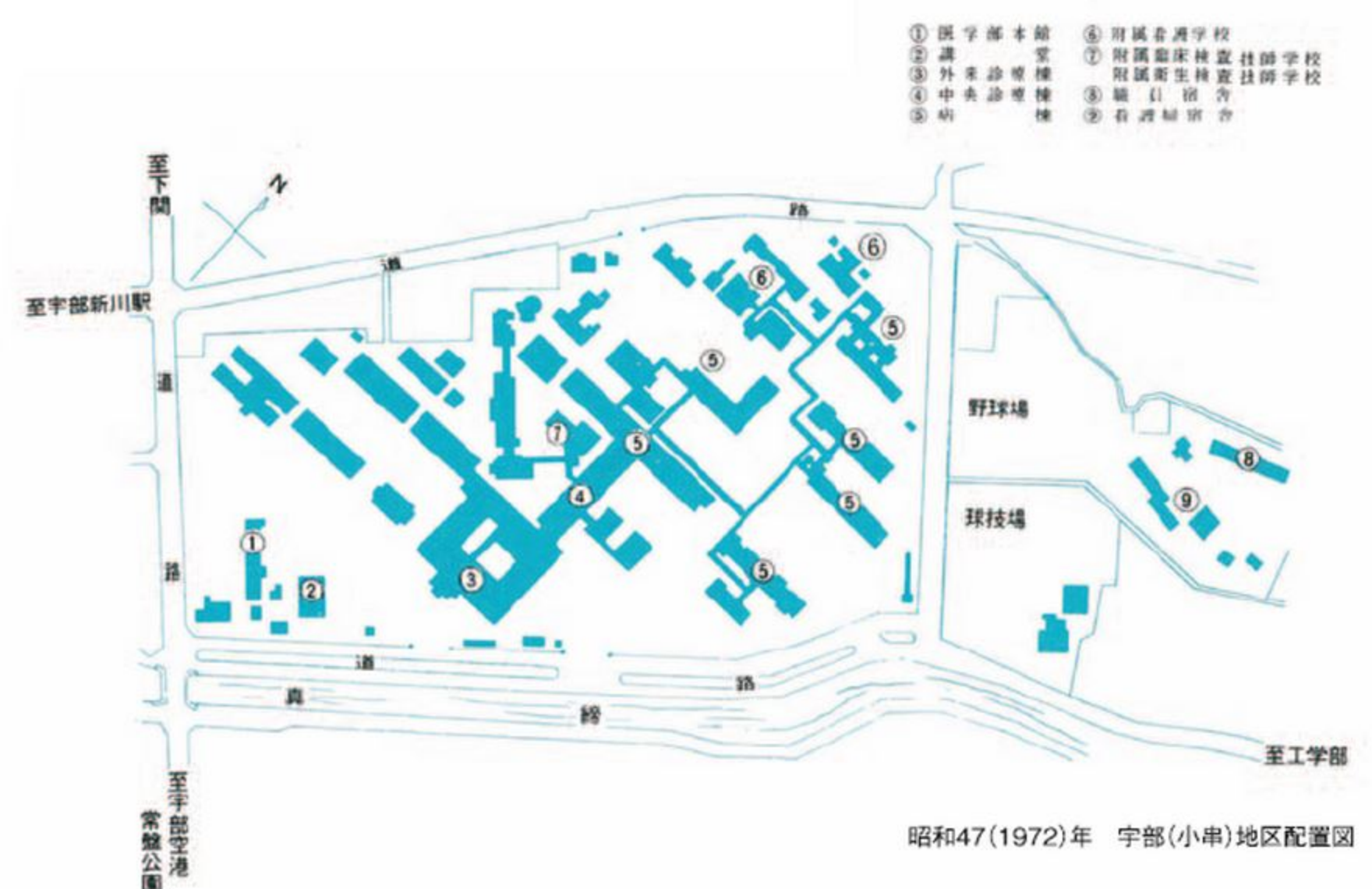
昭和48(1973)年 小串地区



昭和49(1974)年 小串地区



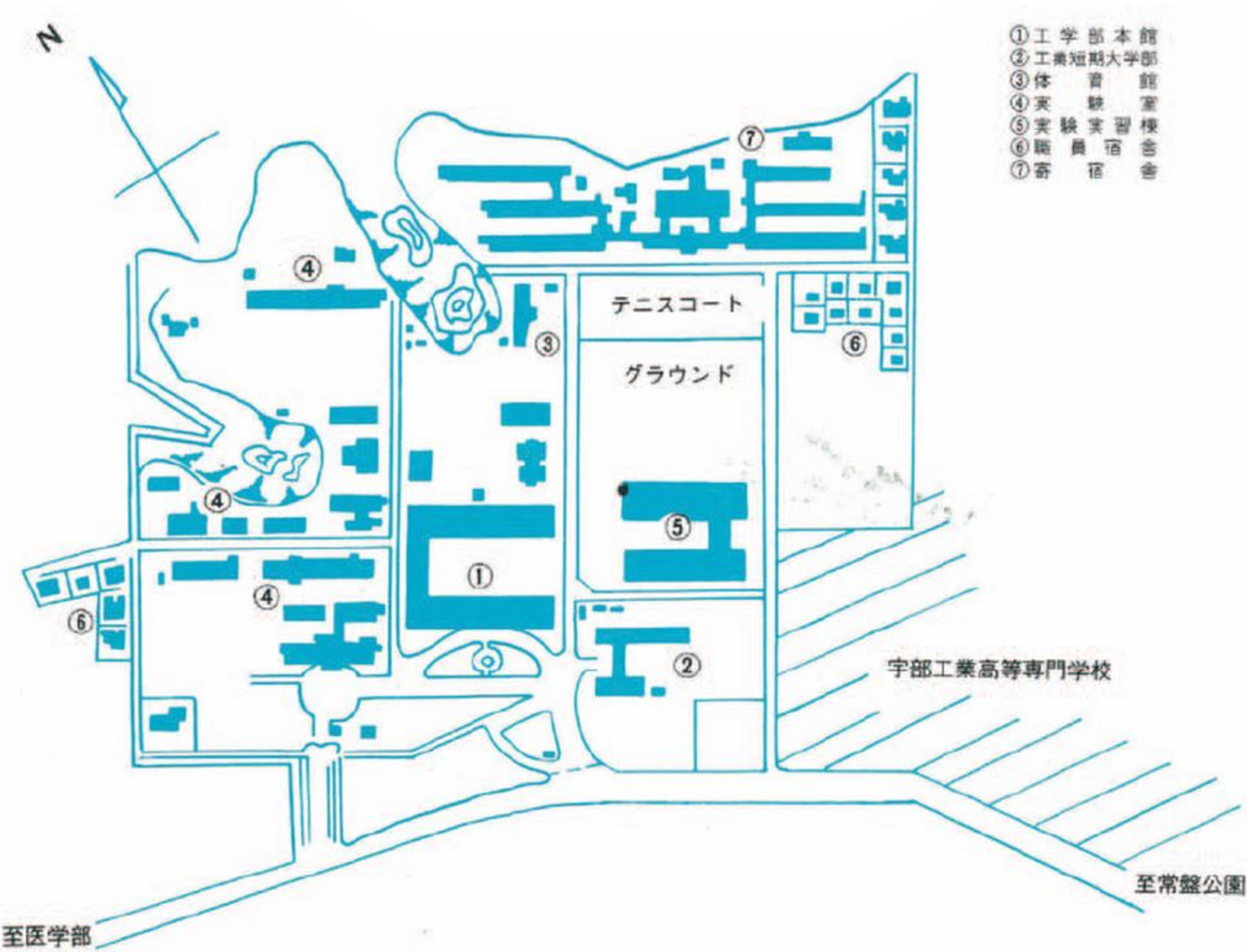
昭和46(1971)年頃 医学部校舎



昭和47(1972)年 宇部(小串)地区配置図



昭和48(1973)年 常盤地区



昭和47(1972)年 宇部(常盤)地区配置図



建設中の工学部本館



工学部新本館屋上より望む



昭和45(1970)年 附属図書館落成



昭和46(1971)年 大学紛争当時経済学部正門付近



昭和46(1971)年



昭和45(1970)年 保健管理センター設置

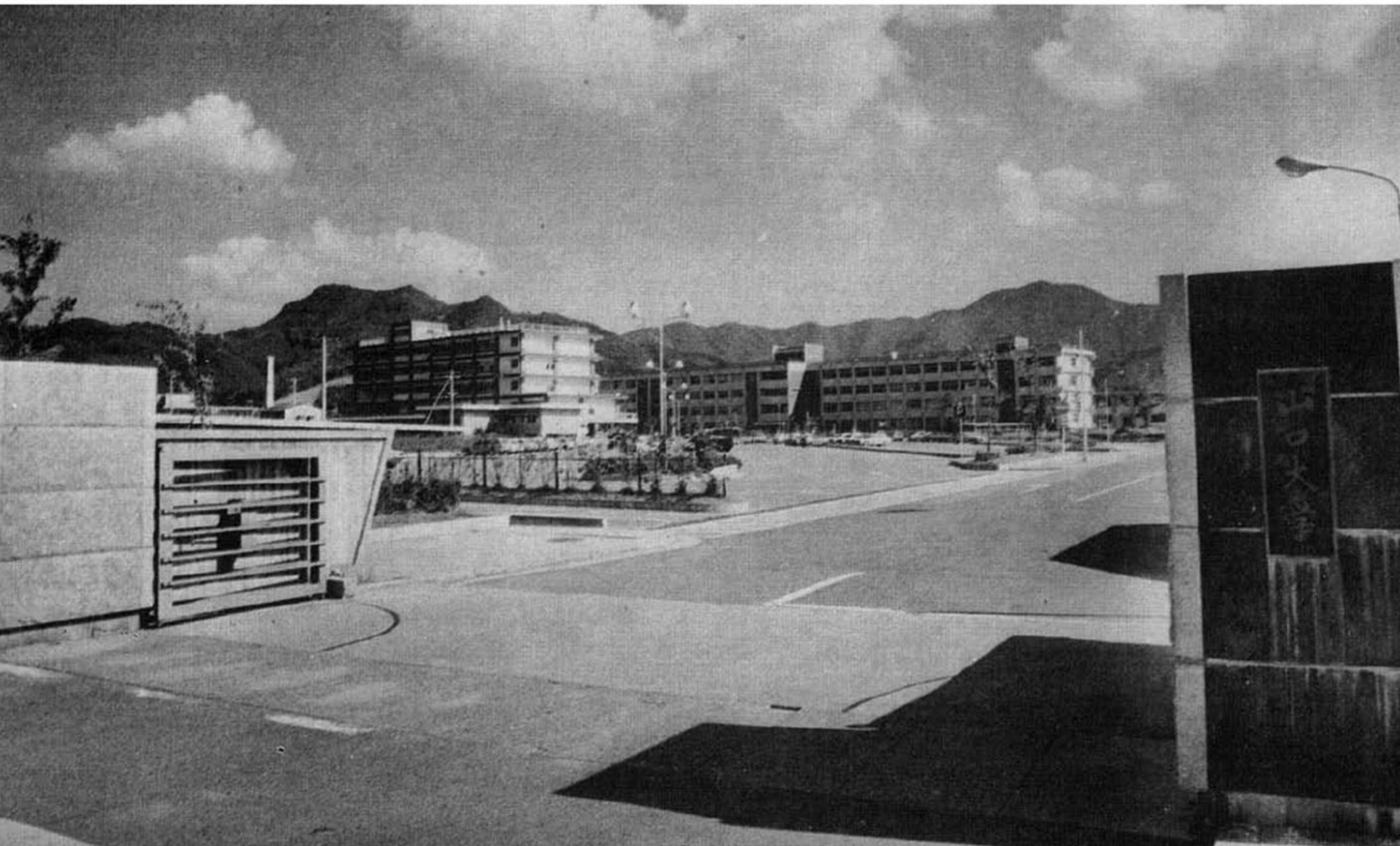


昭和45(1970)年 機動隊の規制を受けてデモする学生たち

昭和46(1971)年
附属山口中学校プールから旧サビエル記念聖堂の塔を望む昭和47(1972)年 附属幼稚園新園舎完成
玄関から遊戯室と保育室を望む

昭和48(1973)年 附属図書館工学部分館

3 整備・拡充期 1974年→1988年



昭和49(1974)年 吉田キャンパス正門

昭和53(1978)年に文理学部を改組して、人文学部と理学部が設置された。

この頃、時代の流れを背景に大学院も次々に設置され、昭和44(1969)年に農学研究科、昭和50(1975)年に経済学研究科、昭和57(1982)年に理学研究科、昭和60(1985)年に人文科学研究科、平成3(1991)年に教育学研究科が誕生した。

小串キャンパスでは、昭和60～平成5(1985～1993)年までの間、外来診療棟の改築にはじまり、病院と学部が近代的な建物に次々と建て替えられ、地域に密着した医療の中心となった。

吉田キャンパス、常盤キャンパス、附属学校等の各地区でも設備が充実していき、学びの環境が整えられていった。

こうした中で、激動の戦中・戦後を体験した昭和の時代が幕を閉じ、新たに平成の時代を迎えることとなった。



昭和51(1976)年 工学部・工業短期大学部正門



工業短期大学部旧校舎



昭和52(1977)年 教養部校舎全景



昭和52(1977)年 埋蔵文化財資料館竣工



昭和54年(1979.6.1)山口大学創立30周年記念式典(於 経済学部大講義室)



昭和54(1979)年 附属看護学校設置

COLUMN

山口大学標章(シンボルマーク)

創立30周年を記念して、本学の標章(シンボルマーク)の図案を学生および教職員から募集した。71点の応募作品の中から入選作品が決定し、その作品に若干の補正を加えたものを標章として制定した。この標章には以下のような作者の狙いが込められている。

- Yamaguchi UniversityのYとUを入れる
- 飛翔・発展するY(山口大)を
- 真・善・美を通じて自由・完全(円)を希求するbackboneある人物となることを志向する





昭和56(1981)年 医学部附属動物実験施設設置



昭和58(1983)年 大学会館新営に伴う発掘調査



昭和59(1984)年 理学部2号館(大学院棟)完成



昭和60(1985)年 大学会館設置



大学会館レストラン



大学会館喫茶部



昭和60(1985)年 経済学部創立80周年記念式典



昭和62(1987)年 教育実践研究指導センター設置(開所式)



昭和62年(1987.3) 医学部附属病院外来診療棟



昭和63(1988)年 国際交流会館(吉田)設置



昭和63(1988)年 附属図書館医学部分館



昭和63年(1988.9.17) 山東大学学術交流代表団来学 歓迎会



昭和63(1988)年 教養部校舎全景



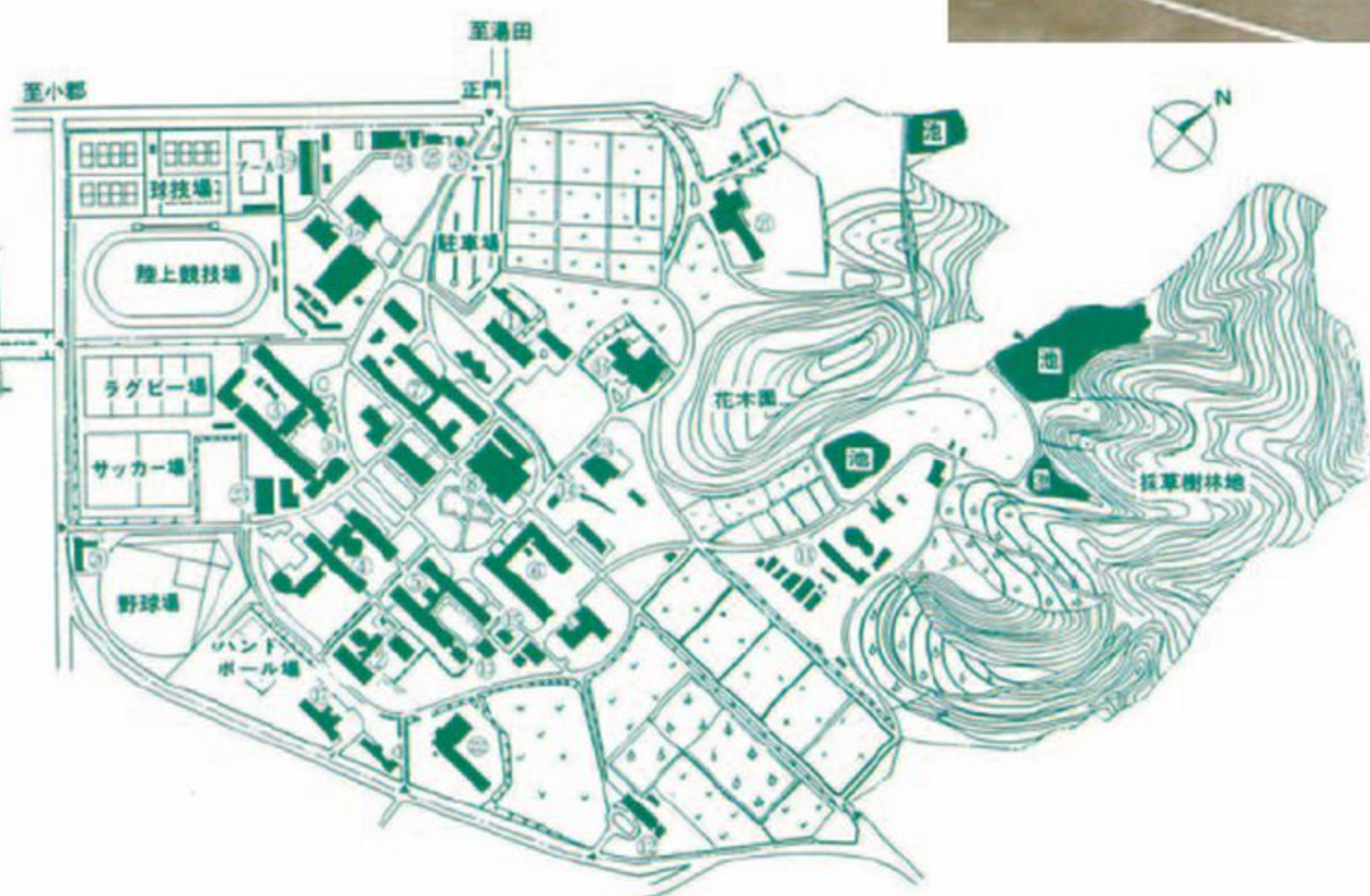
昭和61(1986)年 吉田地区



附属看護学校

- ① 事務局・学生部・学務部
- ② 保健管理センター
- ③ 人文学部
- ④ 教育学部
- ⑤ 経済学部
- ⑥ 農学部
- ⑦ 工学部
- ⑧ 農学部附属図書館
- ⑨ 教育学部附属養護学校

- ⑩ 教育学部附属教育実践研究センター
- ⑪ 農学部附属農場
- ⑫ 農学部附属畜産施設
- ⑬ 情報処理センター
- ⑭ 山口分館
- ⑮ 理蔵文化財資料館(吉田地区)放射線同位元素総合実験室
- ⑯ 国際交流センター
- ⑰ 体育館・武道場等棟
- ⑱ サークル棟
- ⑲ 合宿研修棟
- ⑳ 吉田野舎(男子)
- ㉑ 吉田野舎(女子)
- ㉒ 学生食堂
- ㉓ 生活排水処理施設
- ㉔ 特殊廃水処理施設
- ㉕ 門衛



昭和63(1988)年 山口(吉田)地区配置図



附属幼稚園



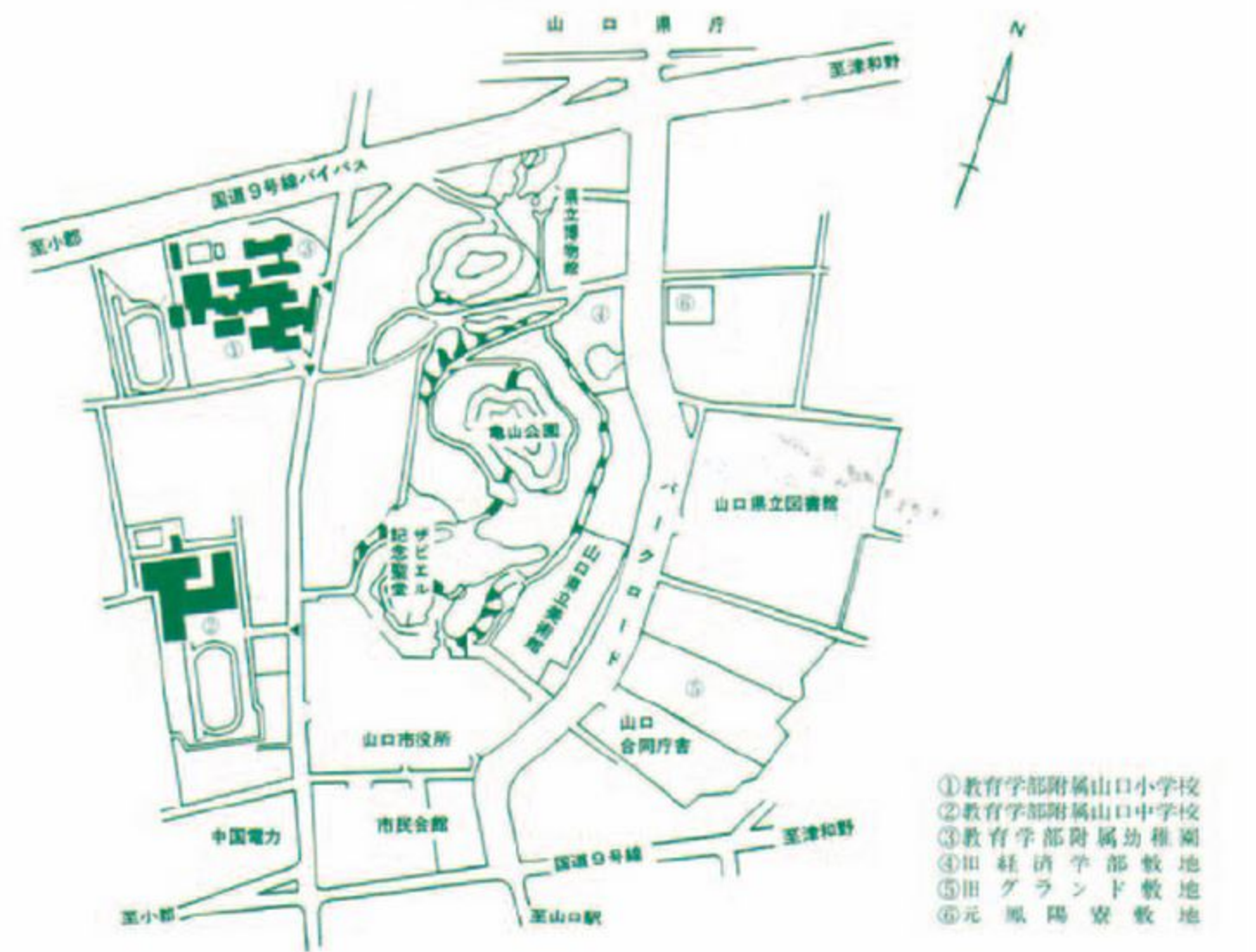
附属山口小学校



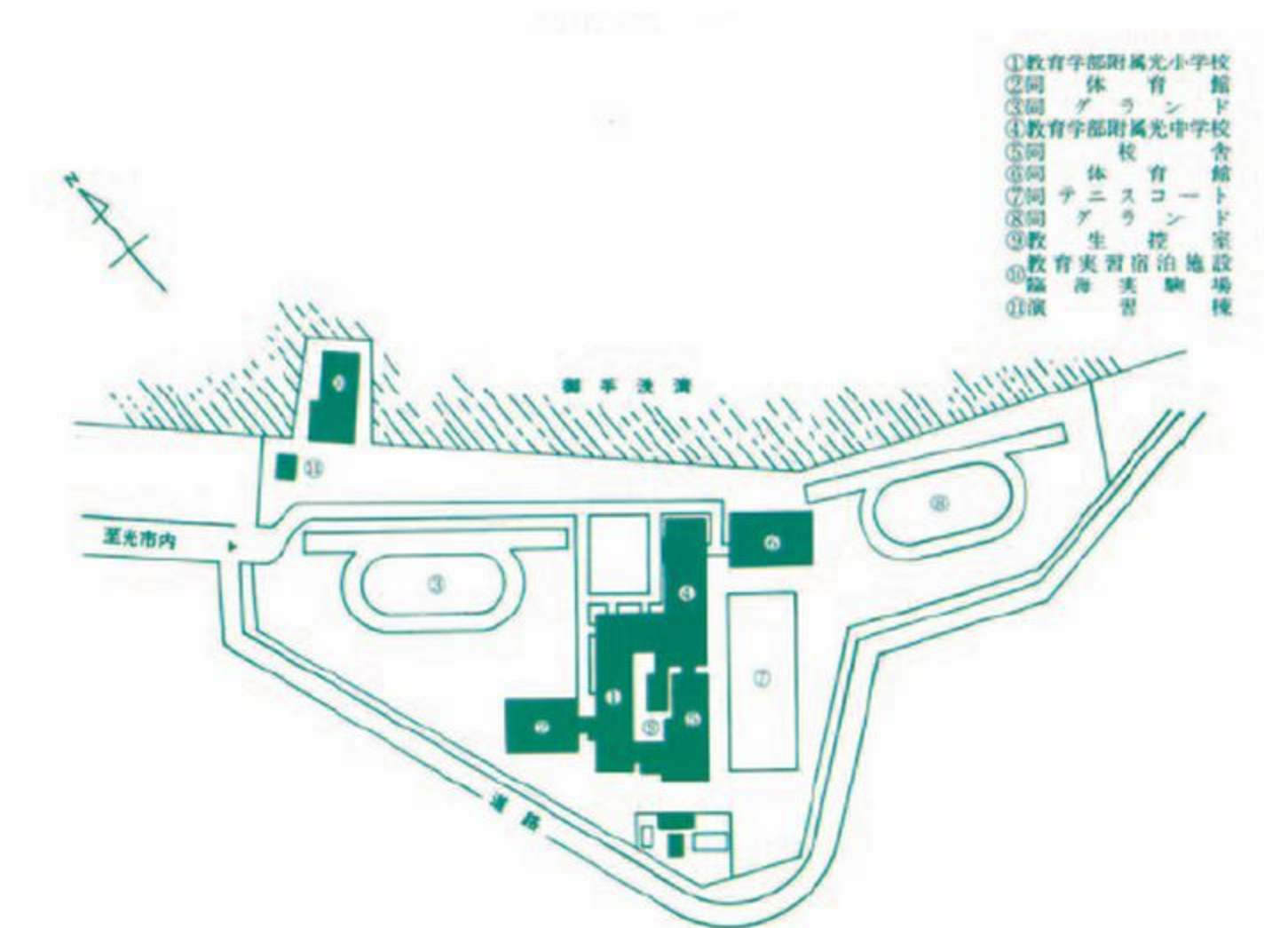
附属山口中学校



附属光小・中学校



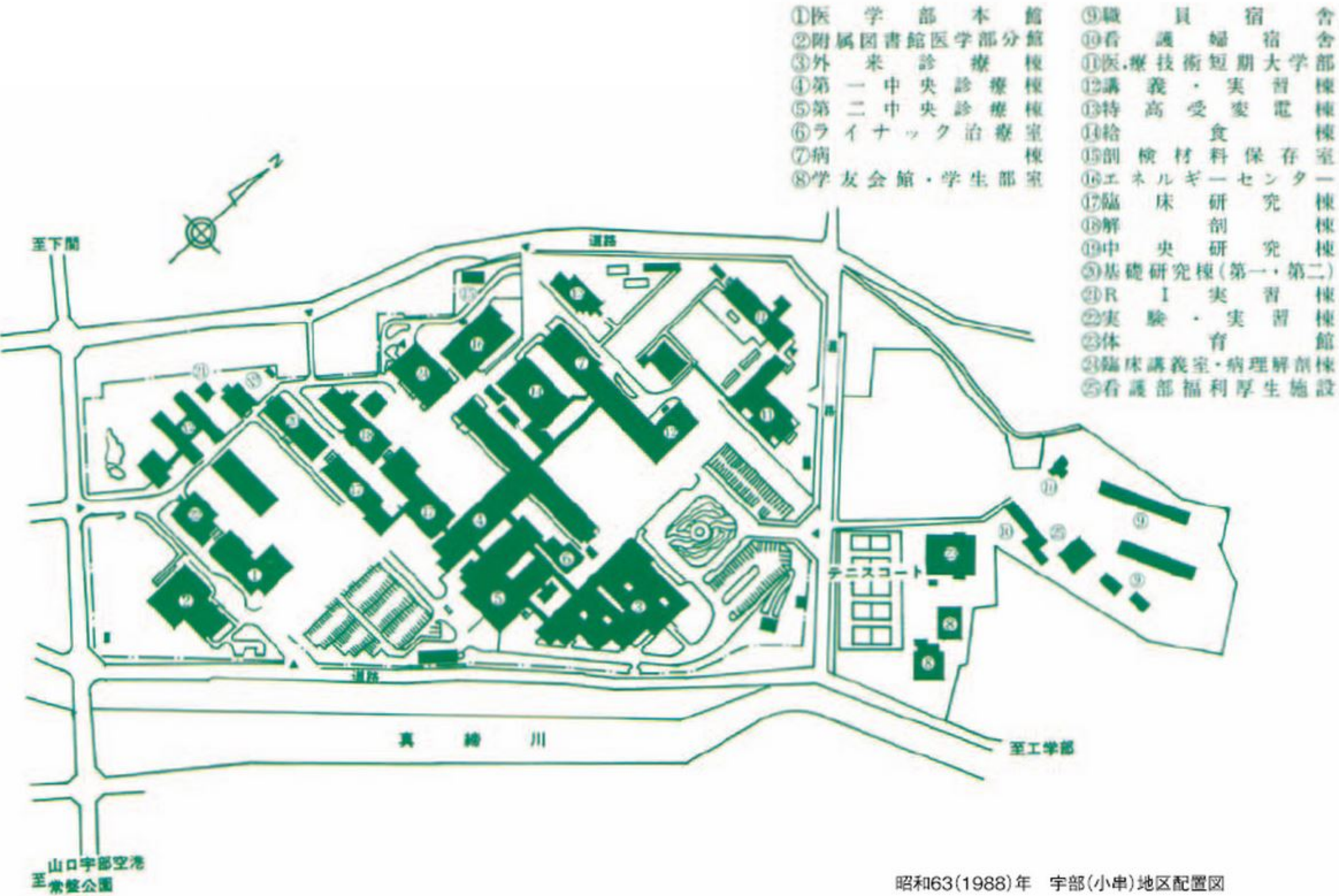
昭和63(1988)年 山口(亀山)地区配置図



昭和63(1988)年 光地区配置図



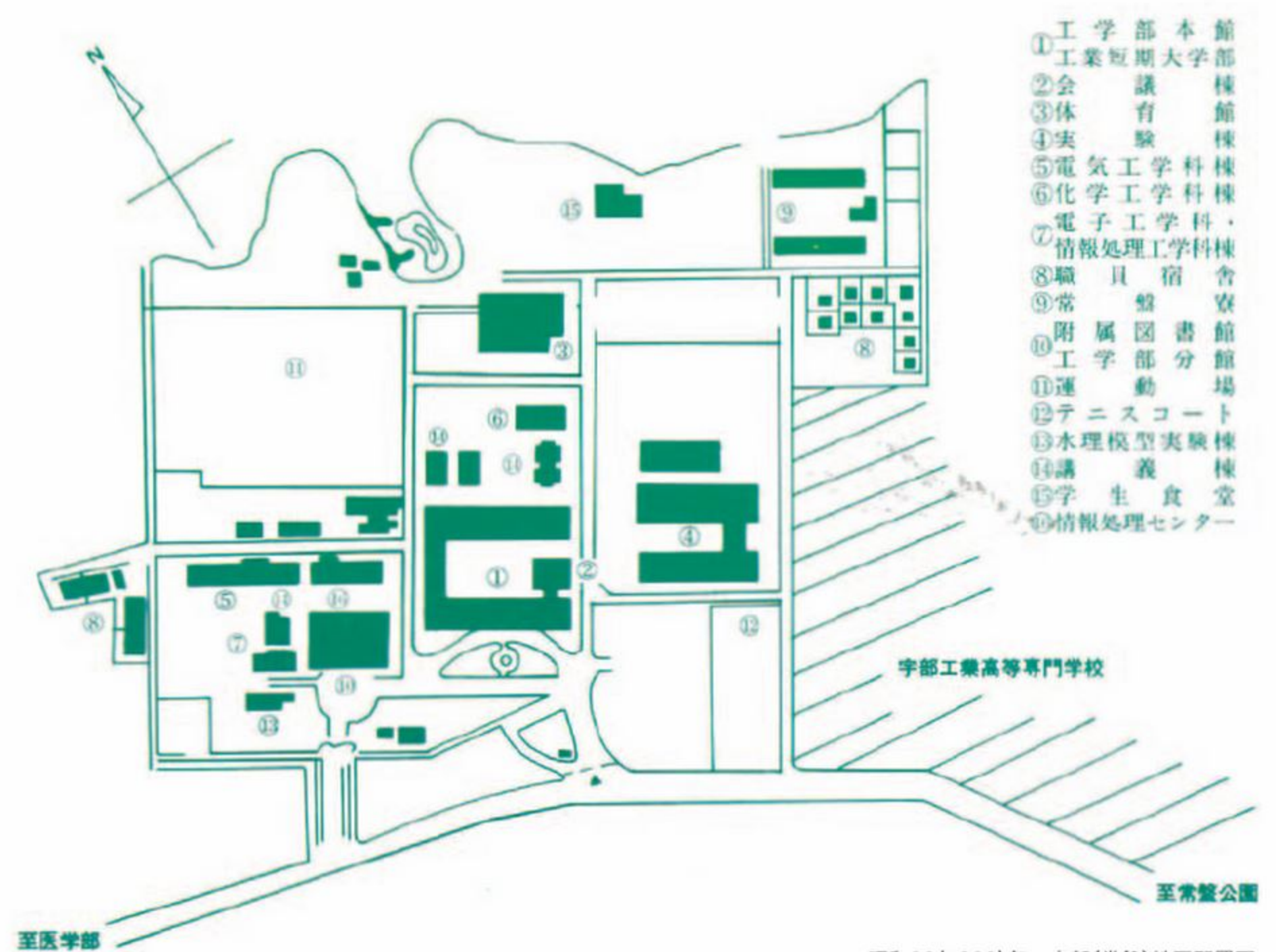
昭和61(1986)年 小串地区



昭和63(1988)年 宇部(小串)地区配置図



昭和61(1986)年 常盤地区



昭和63(1988)年 宇部(常盤)地区配置図

4 変革期 1989年→2003年



平成11(1999)年 山口大学創立50周年記念式典

平成時代に入ってから、学部・大学院の拡充が続いた。平成元(1989)年に農学研究科の農学専攻は鳥取大学の農学研究科に参画、平成2(1990)年に農学研究科の獣医学専攻は連合獣医学研究科として再スタート、平成3(1991)年には教育学研究科が設置され、平成9(1997)年には理学研究科が工学研究科とともに理工学研究科として再スタートをきった。

また、平成12(2000)年に医学部に保健学科、平成13(2001)年に大学院医学研究科内に、日本で初めて医学部と工学部が連携した応用医工学系専攻が設置された。一方、教養部は平成8(1996)年に共通教育センターの設置とともに廃止となり、4年一貫教育が実施されるようになった。

この時代に山口大学は創立から50周年を迎え、数々の記念行事を開催、平成11(1999)年に創立50周年記念式典を挙行了した。その後、平成13(2001)年度より法人化への動きがはじまり、3年の準備期間を経て平成16(2004)年、国立大学法人に生まれ変わった。



平成元年(1989,11,13) 山口大学創立40周年記念巡回講演会(岩国市民会館ホール)



平成元(1989)年 工学部創立50周年記念式典



平成11(1999)年 山口大学創立50周年記念祝賀会



平成11(1999)年 山口大学創立50周年記念祝賀会

平成11(1999)年 山口大学創立50周年記念
エズラ・ヴォーゲル博士(ハーバード大学教授)への名誉博士称号授与式

平成11(1999)年 山口大学創立50周年記念50祭

COLUMN

山口大学広報誌(YU Information)の創刊

平成4(1992)年7月に山口大学広報誌が創刊された。学生、教職員、保護者、高校生、地域の方々へ山口大学の取り組みや新しい情報を発信するため、毎号さまざまなテーマを設定し広報活動を行っている。近年は1年間に6回のペースで発行しており、平成26(2014)年7月号で120号目となった。2013年度からはデジタル化を推進し、インターネットでの配信を実現。より広範囲へ情報を届けられるようになっている。





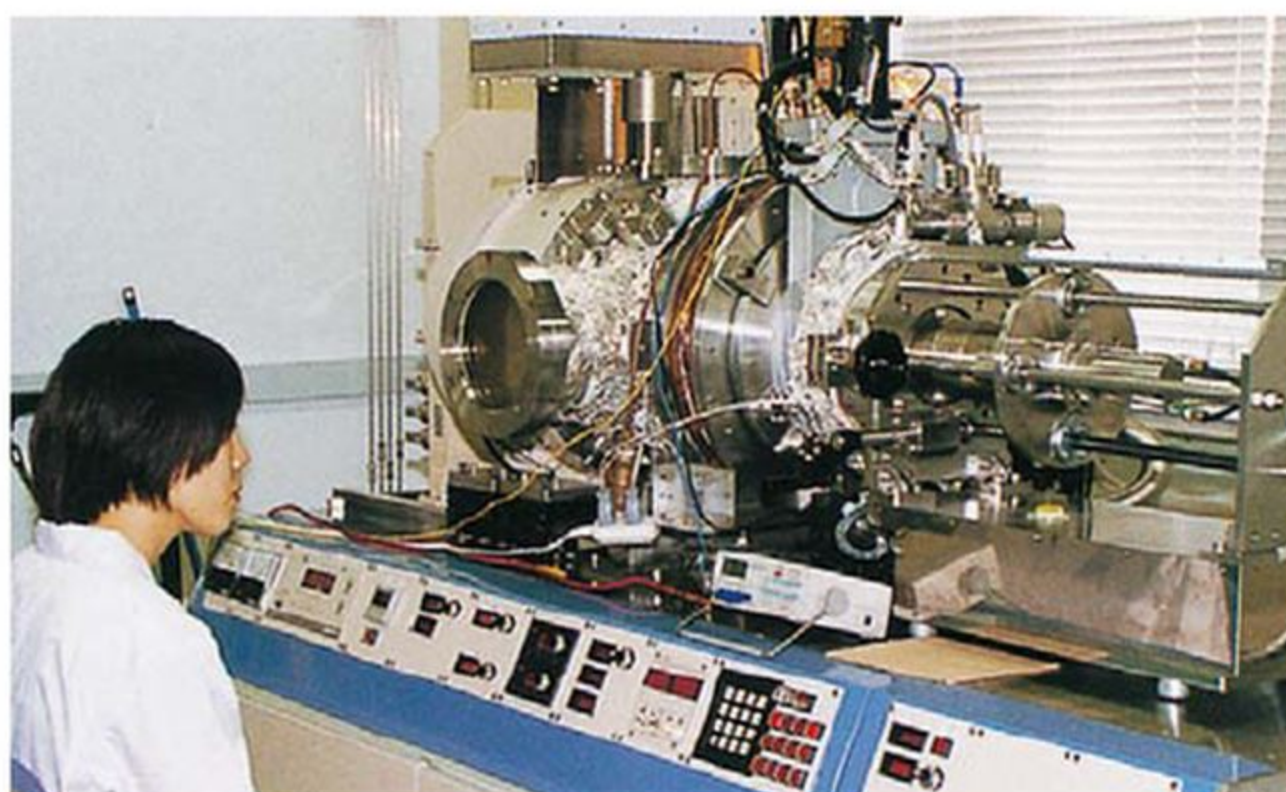
平成3年(1991.6.20) 山口大学大学院教育学研究科修士課程設置記念式典



平成3(1991)年 地域共同研究開発センター設置



平成3年(1991.8.5) 地域共同研究開発センター開所式



地域共同研究開発センター



平成3年(1991.9.28) 台風19号被害状況
家畜病院車庫付近



平成4(1992)年 機器分析センター設置



平成4年(1992.8) 機器分析センター門標



平成3年(1991.9.28) 台風19号被害



機器分析センター(電顕室)



平成5(1993)年 大学院連合獣医学研究科棟



平成5年(1993.12.2) 大学院連合獣医学研究科棟落成記念式典



平成5年(1993.12.2) 大学院連合獣医学研究科棟落成記念式典



平成6(1994)年 遺跡保存地区大学会館南側整備



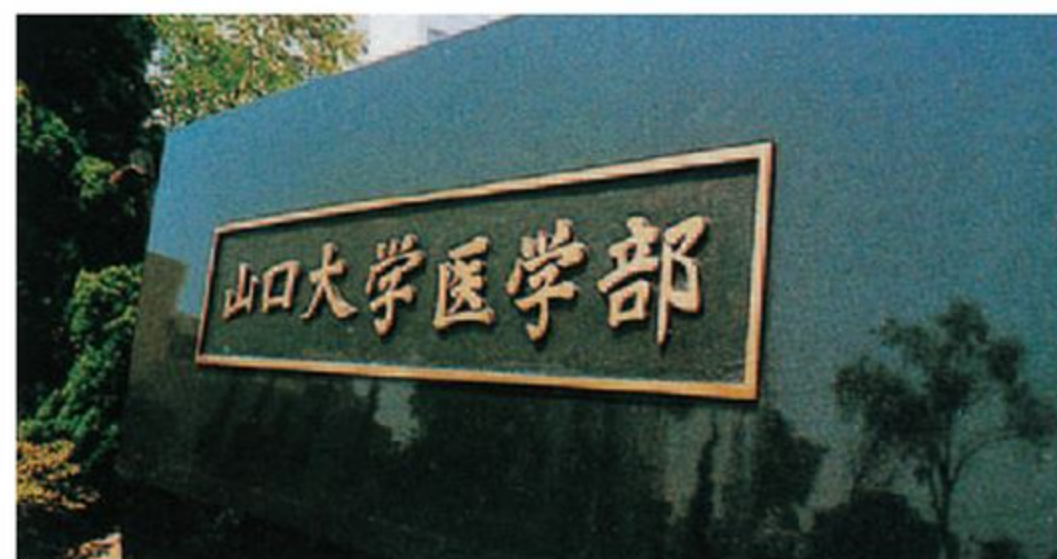
平成6年(1994.9.6) 山口大学ATM開設式(旧教養部裏)



平成6(1994)年 医学部創立50周年記念式典



平成7(1995)年 医心館



医学部門標



平成7(1995)年 体育館



平成7(1995)年 グラウンド



平成7(1995)年 第2学生食堂



平成7(1995)年 経済学部商品資料館竣工



平成10年(1998.5.21) 経済学部商品資料館内部



経済学部東亜経済研究所(書庫)



医学部本館



医学部基礎研究棟



医学部臨床研究棟



昭和56(1981)年 情報処理センター設置
平成7(1995)年 総合情報処理センター設置



平成8(1996)年 共通教育センター設置(旧教養部)



平成10(1998)年 共通教育センター(旧教養部)



平成8(1996)年 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー教育研究施設設置



ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー教育研究施設



ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー教育研究施設



平成8年(1996.3.26) 新放射性同位元素総合実験室落成



平成8(1996)年 心理教育相談室開設



平成9(1997)年 学生センター開所祝賀式



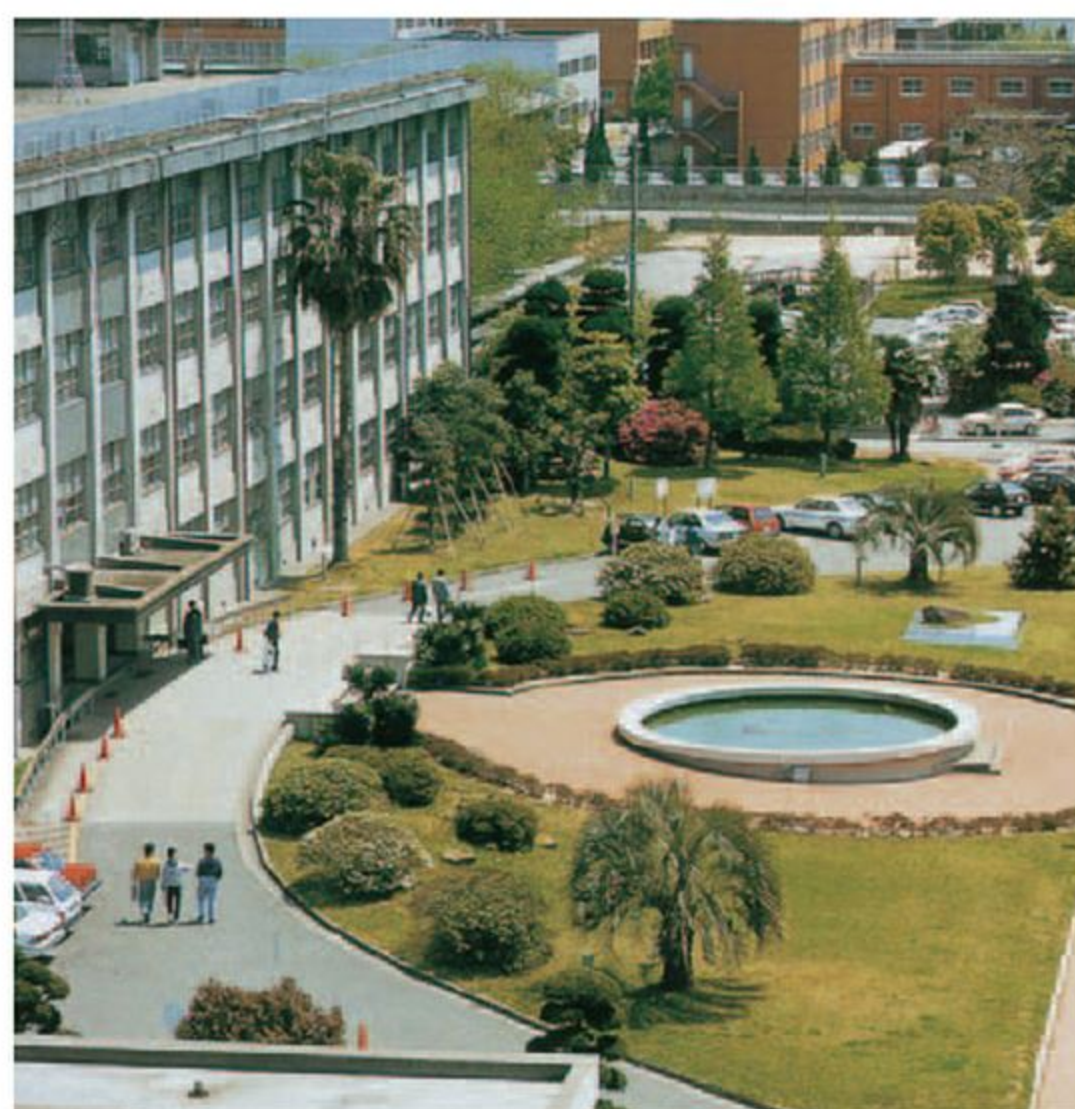
平成9年(1997.6.8) おもしろプロジェクト「めだかの学校」



平成9年(1997.6.8) おもしろプロジェクト「めだかの学校」



平成9(1997)年 附属図書館



平成10(1998)年 工学部玄関付近



平成14(2002)年 附属図書館閲覧室



平成10(1998)年 附属山口中学校50周年(航空写真)



平成10年(1998.6.25) 仁荷大学校大学間学術交流協定締結



平成10(1998)年 遺伝子実験施設



平成14(2002)年 工学部福利厚生棟



平成14(2002)年 第2回オープン・ライブラリー



平成15(2003)年 法人化に向けてのアンケート実施(七夕祭)



平成15年(2003.1) 保護者向け広報誌創刊



平成15(2003)年 法人化に向けて審議



平成15(2003)年 シンボルマークアンケート実施(大学祭)



平成11(1999)年 吉田地区



平成11(1999)年 附属養護学校



平成11(1999)年 吉田地区配置図



平成11(1999)年 附属幼稚園



平成11(1999)年 附属山口小学校



平成11(1999)年 附属山口中学校



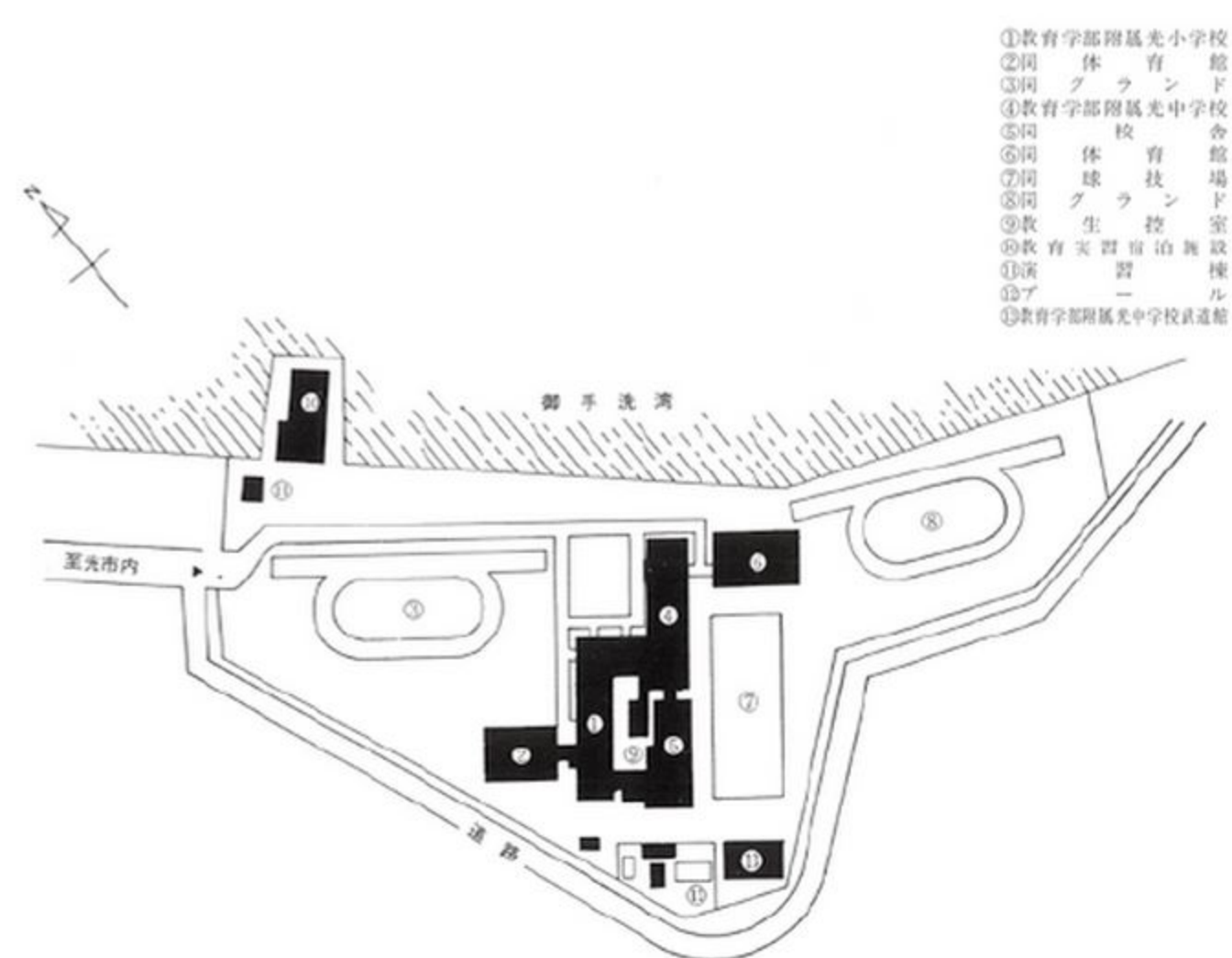
平成11(1999)年 附属光小学校



平成11(1999)年 附属光中学校



平成11(1999)年 白石・龜山地区配置図



平成11(1999)年 光地区配置図



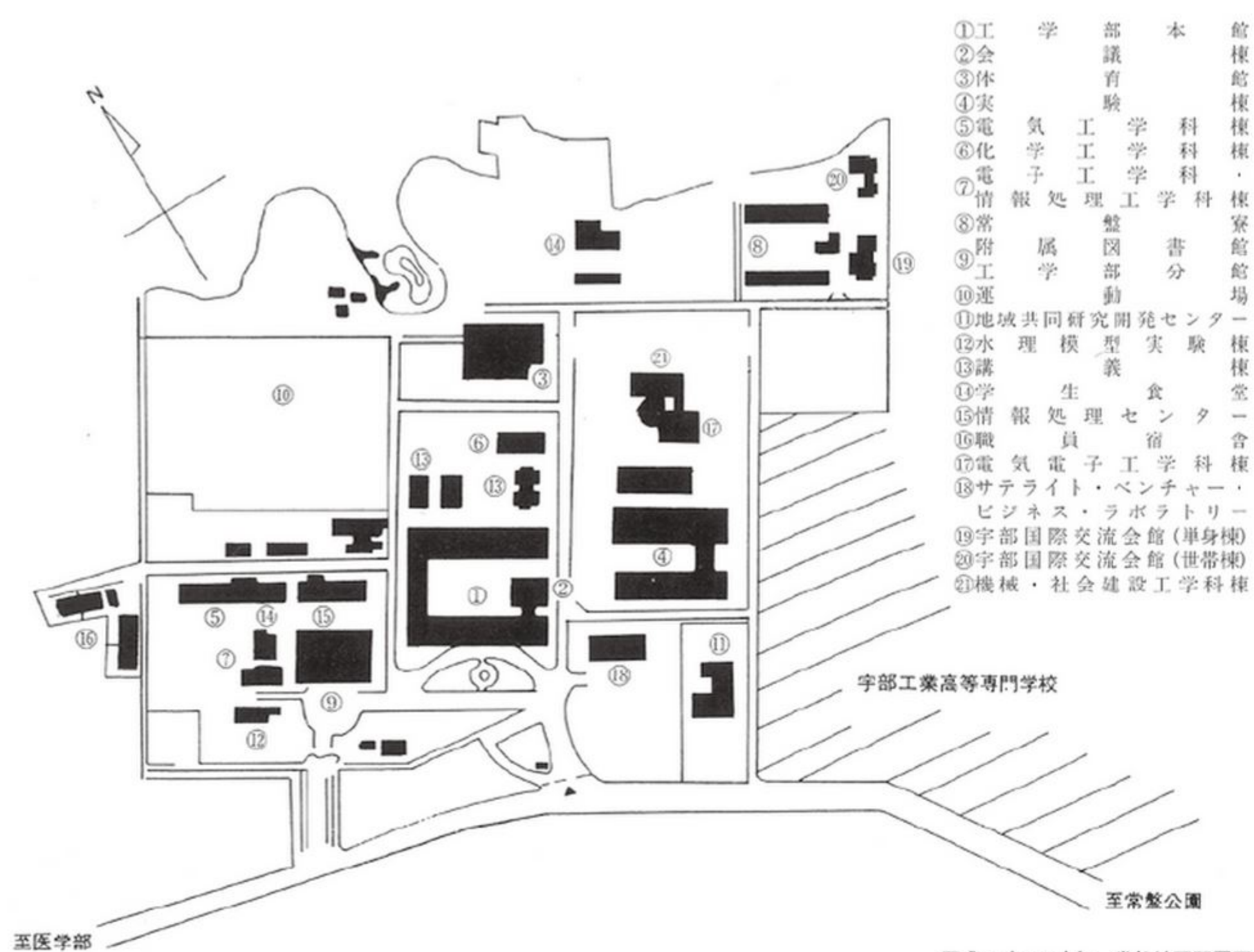
平成11(1999)年 小串地区



平成11(1999)年 小串地区配置図



平成11(1999)年 常盤地区



平成11(1999)年 常盤地区配置図

5 飛躍期 2004年→2014年



平成16(2004)年頃 吉田キャンパス正門

平成16(2004)年4月1日、山口大学は国立大学法人として新たなスタートをきった。法人化にともない、シンボルマークやカラーを一新、平成19(2007)年には「山口大学憲章」が制定され、新しい大学づくりがさらに一歩前進した。

法人化後は、企業・地方自治体等と包括的連携協力の協定を次々と締結するほか、公開講座や開放授業等を実施するなど、地域との交流や地域貢献活動に積極的に取り組んでいる。

平成13(2001)年に大学院東アジア研究科を設置、平成17(2005)年大学院医学研究科を医学系研究科に改称し、同研究科に保健学専攻を設置、技術経営研究科を設置、経済学部には観光政策学科が設置された。さらに、平成24(2012)年共同獣医学部が創設された。

平成27(2015)年に迎える創基200周年を祝し、平成22(2010)年にはシンボルマーク・キャッチフレーズが定められた。大学のさらなる飛躍に向けて学生、教員、職員が一体となって改革に取り組んでいる。



平成16(2004)年 大学正門のシンボルマーク



平成16(2004)年 門標



平成16(2004)年 校旗



平成16(2004)年 シンボルマーク入りのグッズ



平成16(2004)年 小串総合研究棟竣工



平成16(2004)年 小串総合研究棟竣工



平成16(2004)年 常盤総合研究棟竣工



平成16(2004)年 常盤総合研究棟竣工

COLUMN

山口大学シンボルマーク・ロゴタイプ

山口大学は平成12(2000)年4月に新たな教育理念・目標である「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」が制定されたのを機に、本学のUI(University Identity)を表現するVI(Visual Identity、シンボルマーク、ロゴマーク及びスクールカラー等)の制定を山口大学広報活動専門委員会が中心となって作業を進め、平成16(2004)年1月、新シンボルマーク等を制定した。

シンボルマークは未来をまっすぐに見据えた顔を表現しており、それはまた、個性を大切にしたい教育・研究を育む学問の芽であり、世界に向かって大きく開いていくことを意図している。





平成17(2005)年 学生センター



平成17(2005)年 山口市との協定調印式



平成18(2006)年 開放授業開始の記者会見



平成18(2006)年 地域との交流会開始



平成18(2006)年 長州五傑記念碑除幕式



平成18(2006)年 第1回ちゃぶ台フォーラム開催



平成18(2006)年 附属光小学校・附属光中学校創立60周年記念式典



平成19(2007)年 山口大学憲章制定



平成19(2007)年 附属病院高度救急救命センターリニューアルオープン、ハイケアユニット(HCU)10床が稼働



平成20(2008)年 東亜経済研究所竣工



平成21(2009)年 O-HARA山口大学就職支援施設誕生



平成21(2009)年 大原学園との連携事業の記者会見



平成20(2008)年 メディア基盤センター ISO/IEC27001の認証取得



平成21(2009)年 工学部創立70周年記念植樹



平成21(2009)年 医学部に頌徳碑完成



平成22(2010)年 常盤女子寮竣工



平成22(2010)年 整備を終えた正門駐車場



平成22(2010)年 農学部創設の地記念碑除幕式
(下関市長府)



平成22(2010)年 東アジア研究科・経済学研究科棟完成



平成22(2010)年
「共育の丘」およびモニュメント完成披露式典



平成22(2010)年 附属動物医療センター改修工事竣工



平成22(2010)年 農学部植物工場開所



平成22(2010)年 創基200周年ロゴマーク・キャッチフレーズ決定



平成23(2011)年 小串団地構内立体駐車場完成



平成23(2011)年 やまぐちイノベーション創出推進拠点開所



平成23(2011)年 廣中平祐先生時間学研究所名誉所長任命



平成23(2011)年 ドクターヘリ運航開始



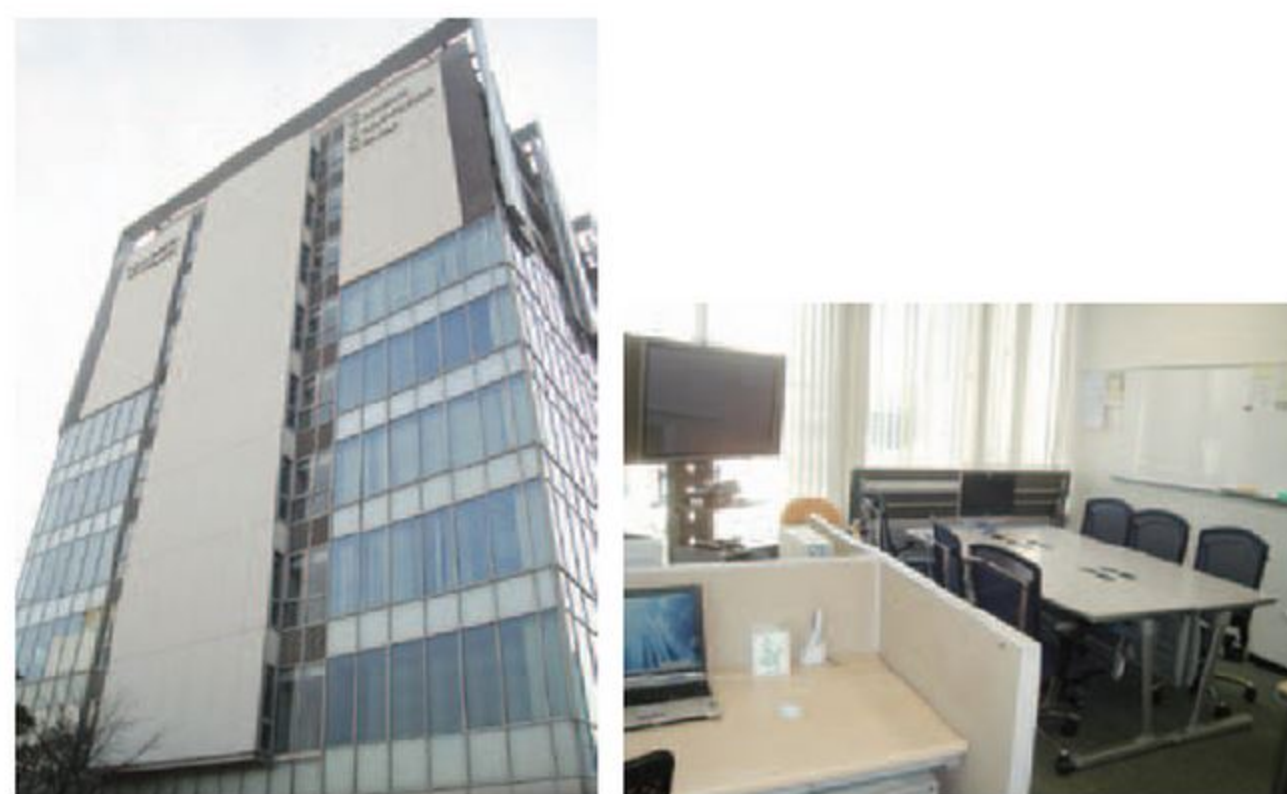
平成23(2011)年 吉田寮1号棟改修完了



平成26(2014)年 ドクターヘリ格納庫完成



平成24(2012)年 医学部附属病院地域医療教育研修センター竣工



平成24(2012)年 キャンパス・イノベーションセンター内に東京事務所開設



平成24(2012)年 共同獣医学部設置記念式典



平成24(2012)年 平成24年度国立大学図書館協会賞受賞



平成24(2012)年 工学部附属グローバル技術者養成センター開所



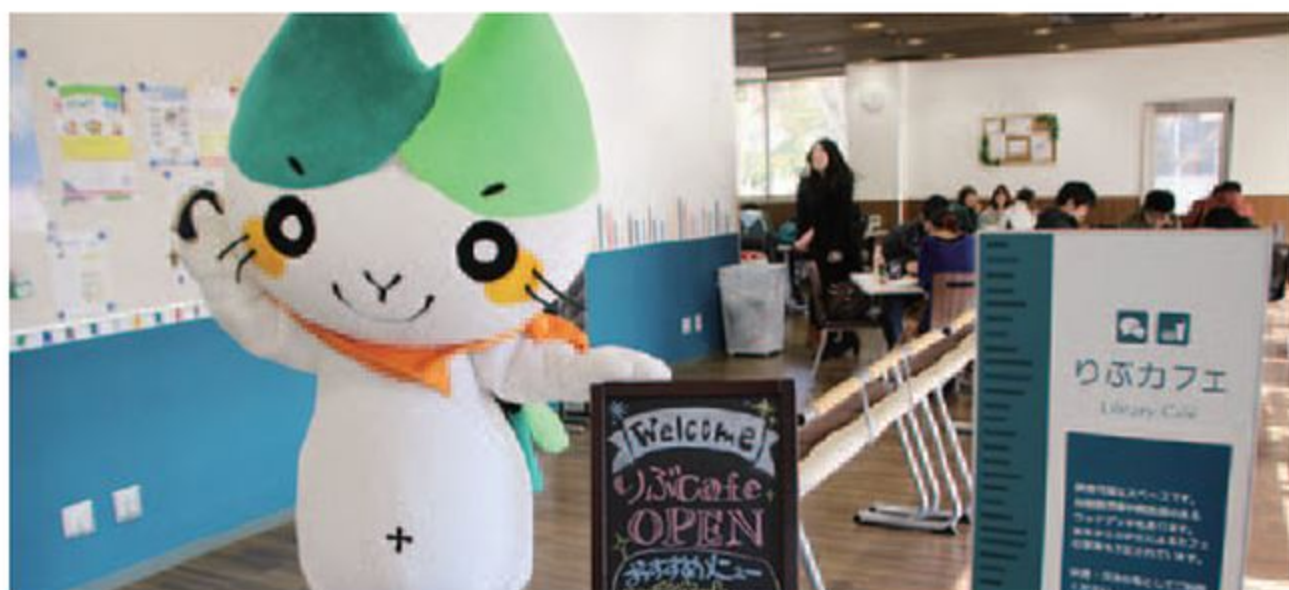
平成25(2013)年 「世界一大きな郵便ポスト」ギネス記録認定



平成25(2013)年 記念スタンプ



平成25(2013)年 やまぐち子育て応援優良企業表彰受賞



平成26(2014)年 「りぶカフェ」図書館内に設置



平成25(2013)年 山口学芸大学、山口芸術短期大学と協定締結



平成26(2014)年 総合図書館増築・改築竣工

COLUMN

山大ブランドの創出

平成16(2004)年の法人化後、大学では受験生や保護者、地域の方に魅力をアピールするため、ブランド力の向上に力を入れている。選ばれる大学になるため、教育面での特徴ある取り組みのほかに、大学の研究成果の製品化や独自ブランドの商品開発・販売、シンボルマーク、キャラクターの制作など、多方面でイメージ戦略が繰り広げられている。



大学キャラクター「ヤマミィ」

平成24(2012)年11月に山口大学のシンボルマークの形とカラーリングをイメージした、「自由さ」「好奇心」「柔軟性」を持ったネコをモチーフとして作成された。名前の「ミィ(Me)」には、「ヤマミィに、大学の「私(=アイデンティティ)」を体現する存在になって欲しい」「学生の皆さんに、山口大学でそれぞれの「私」を発見して欲しい」という思いが込められている。本学のキャラクターとして学内外の行事に参加するほか、キャラクターグッズも多数制作され、大学のPR活動に貢献している。



山口大学発! さまざまな商品

学生や教職員のアイデアを取り入れつつ、シンボルマーク入りのグッズや、日本酒、まんじゅうなど、さまざまな商品を地元企業とともに開発、販売している。



「山口大学まんじゅう」

平成18年度のおもしろプロジェクトで誕生。学生が大学のブランド商品を企画し、県内のまんじゅう製造会社や印刷会社と連携して制作した。平成19年から学内で販売されている。



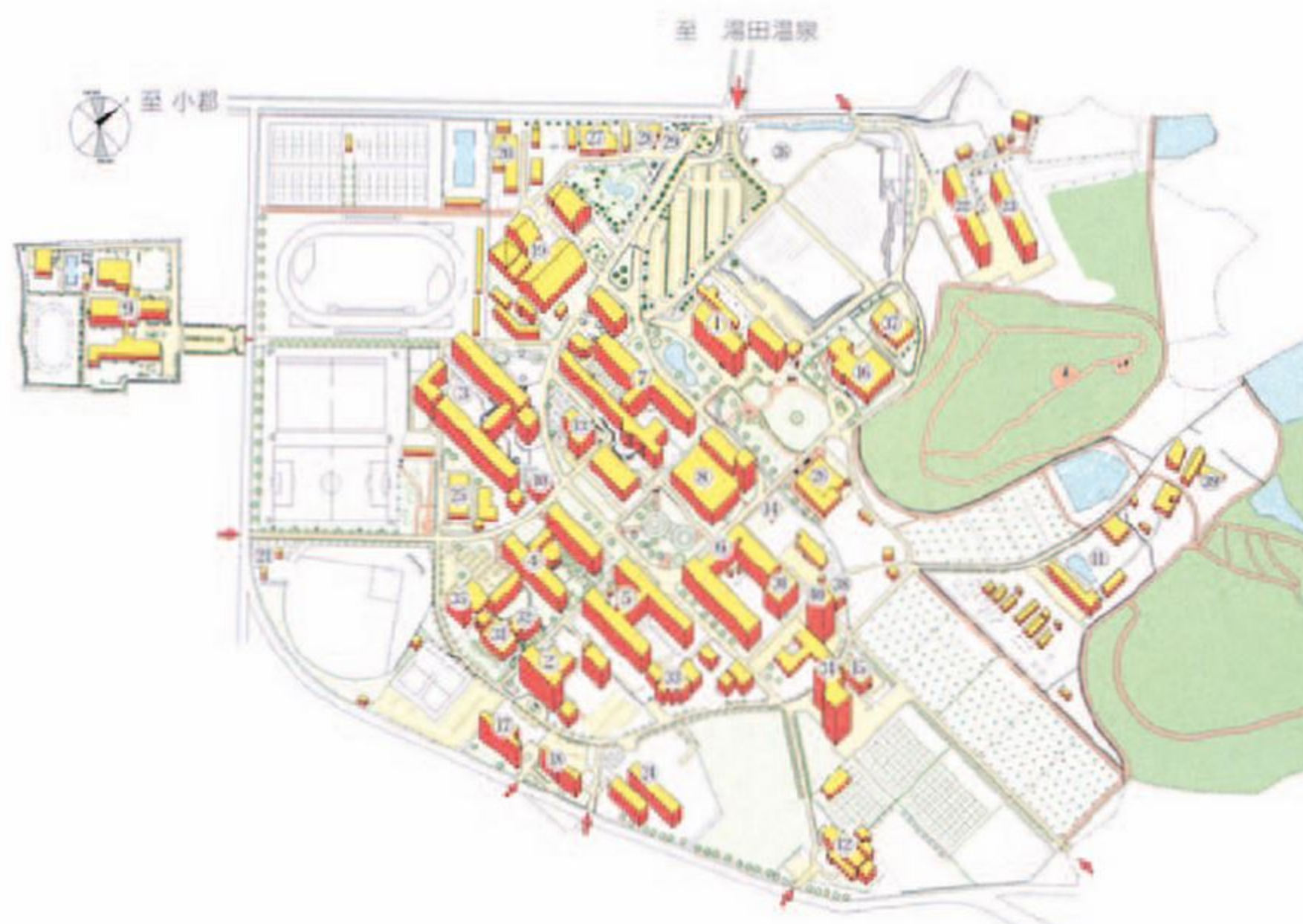
「長州学舎」

日本酒「長州学舎」は、山口県で開発された酒米「西都の雫」を本学農学部附属農場で栽培し、萩市の酒造会社に醸造を依頼して誕生。銘柄及びラベルデザインは公募により決定した。平成21年から学内で販売されている。



平成26(2014)年 吉田地区

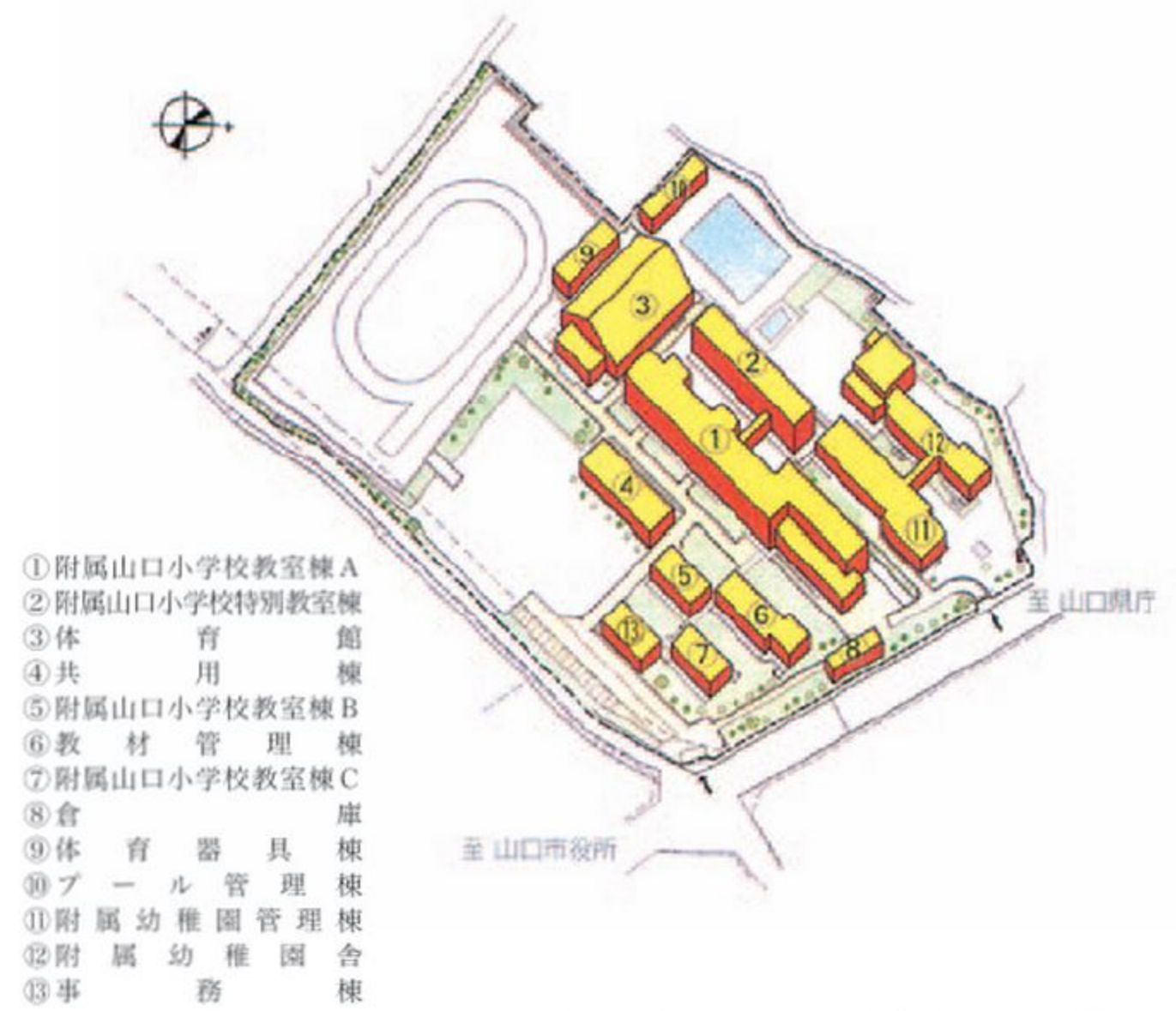
- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| ① 事務局 | ⑩ 体育館・武道場等 |
| ② 保健管理センター | ⑪ サークル共用棟 |
| ③ 人文教育学部 | ⑫ 合宿研修棟 |
| ④ 経済学部 | ⑬ 吉田寮1号棟(男子) |
| ⑤ 理学部 | ⑭ 吉田寮2号棟(男子) |
| ⑥ 農学部・共同獣医学部 | ⑮ 榎野寮1号棟(女子) |
| ⑦ 共通教育本館 | ⑯ 榎野寮2号棟(女子) |
| ⑧ 総合図書館(1号館) | ⑰ 第二学生食堂 |
| ⑧ 総合図書館(2号館) | ⑱ 旧生活排水処理施設 |
| ⑨ 総合図書館(3号館) | ⑲ 特殊排水処理施設 |
| ⑨ 教育学部附属特別支援学校 | ⑳ 門衛 |
| ⑩ 教育学部附属教育実践総合センター | ㉑ 大学院連合獣医学研究科棟 |
| ⑪ 農学部附属農場 | ㉒ 商品資料館 |
| ⑫ 共同獣医学部附属動物医療センター | ㉓ 東亜経済研究所 |
| ⑬ メディア基盤センター(吉田センター) | ㉔ 総合科学実験センター(機器分析実験施設(吉田)) |
| ⑭ 理蔵文化財資料館 | ㉕ 吉田総合研究棟 |
| ⑮ 総合科学実験センター(システム生物学・RI分析施設) | ㉖ 東アジア研究科棟 |
| ⑯ 学生会館・放送大学 | ㉗ 経済学研究科棟 |
| ⑰ 山口国際交流会館(1号館) | ㉘ 案内所 |
| ⑱ 山口国際交流会館(2号館) | ㉙ O-HARA山口大学就職支援施設 |
| | ㉚ 特高受変電設備棟 |
| | ㉛ 大動物教育研究棟 |
| | ㉜ 獣医学国際教育研究センター棟 (H26.12 竣工) |



平成26(2014)年 吉田地区配置図



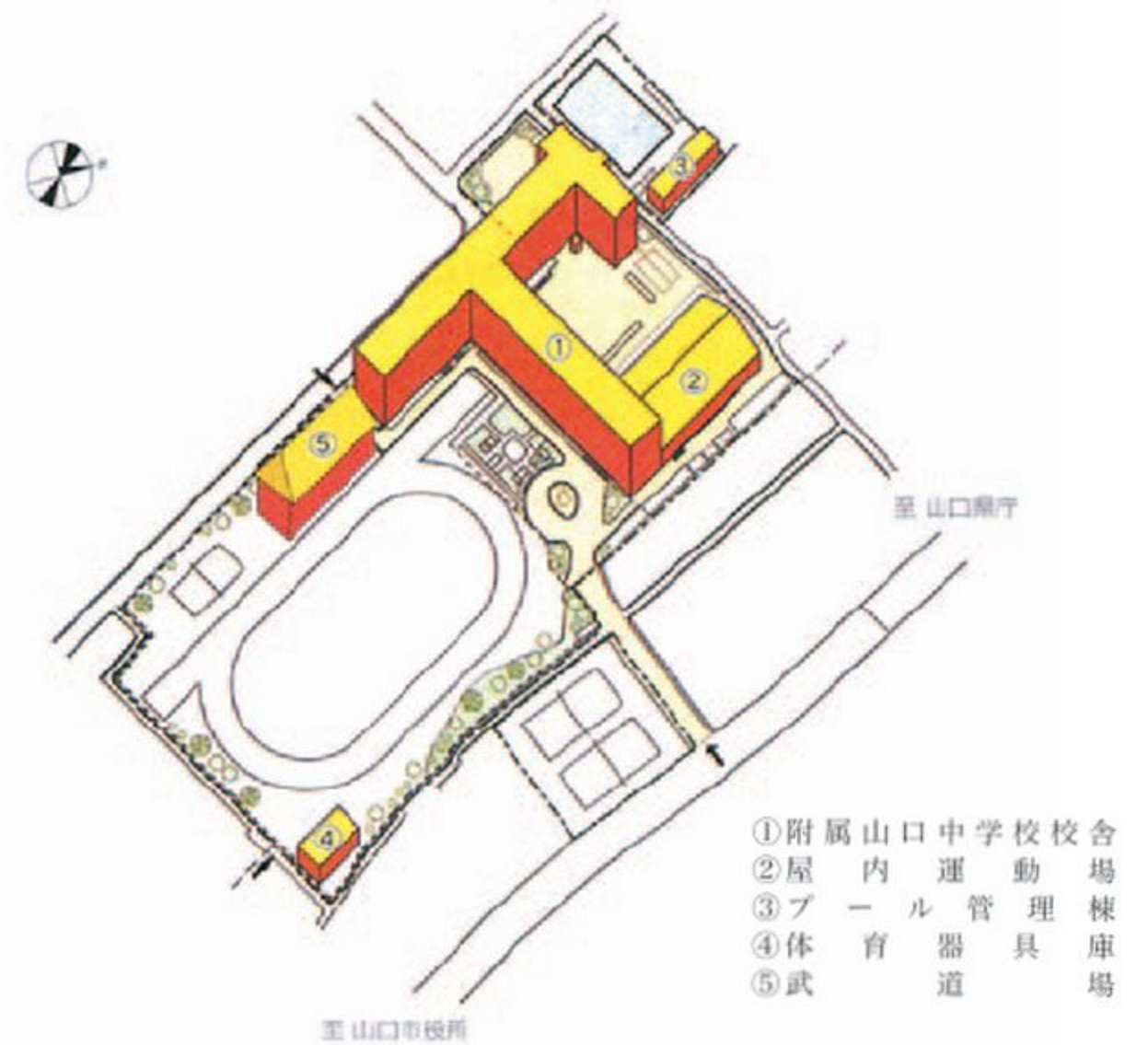
平成26(2014)年 白石地区(附属小学校)



平成26(2014)年 白石地区(附属小学校)配置図



平成26(2014)年 白石地区(附属中学校)



平成26(2014)年 白石地区(附属中学校)配置図



平成26(2014)年 光地区



平成26(2014)年 光地区配置図



平成26(2014)年 小串地区

- ①医学部本館
- ②基礎研究棟
- ③臨床研究棟
- ④臨床研究棟
- ⑤講義棟
- ⑥実習棟
- ⑦臨床研究棟
- ⑧講義棟
- ⑨実習棟
- ⑩講義棟
- ⑪M棟
- ⑫外来診療棟
- ⑬第一中央診療棟
- ⑭第二中央診療棟
- ⑮新放線診療棟
- ⑯第一病棟
- ⑰第二病棟
- ⑱エネルギーセンター
- ⑲資材管理棟
- ⑳特高受変電棟

- ②保健学科研究棟
- ③保健学科第2研究棟
- ④保健学科福利棟
- ⑤車庫
- ⑥ヘルスポール
- ⑦医学部図書館
- ⑧福利厚生施設棟(医心館)
- ⑨記念会館(霜仁会館)
- ⑩納骨堂
- ⑪立体駐車場
- ⑫体育館
- ⑬学生会館
- ⑭看護部宿舎
- ⑮看護員宿舎
- ⑯小串総合研究所
- ⑰廃棄物管理棟
- ⑱地域医療教育研修センター(白理館)
- ⑲薬剤部事務棟



平成26(2014)年 小串地区配置図



平成26(2014)年 常盤地区

- ①工 学 部 本 館
- ②会議棟・保健管理センター
- ③体 育 館
- ④社 会 建 設・機 械 実 習 棟
- ⑤機 械 実 習 棟
- ⑥総合研究棟 2 号館
- ⑦環 境 共 生 系 専 攻 棟
- ⑧知 能 情 報 棟
- ⑨常 盤 センター
- ⑩工 学 部 図 書 館
- ⑪共 同 研 究 開 発 棟
- ⑫西 研 究 棟
- ⑬サ ー ク ル 棟

- ⑭メディア基盤センター
(常盤センター)
- ⑮職 員 宿 舎
- ⑯電 気 電 子 棟
- ⑰先 端 研 究 棟
- ⑱宇部国際交流会館 (A棟)
- ⑲宇部国際交流会館 (B棟)
- ⑳機 械・社 建 棟
- ㉑総合研究棟
- ㉒福 利 厚 生 棟
- ㉓ビ ジ ネ ス・イ ン
- ㉔キ ュ ベー シ ョ ン 棟
- ㉕大学院技術経営研究科棟
- ㉖光半導体素子研究開発棟
- ㉗常 盤 女 子 寮
- ㉘学 術 資 料 展 示 館



平成26(2014)年 常盤地区配置図